

Honda Access

このたびは、Honda純正用品をお買いあげいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、
ご使用まえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- 当商品はHonda車専用です。商品の適用車種はHonda販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合、一切の責任は負えませんので承知おきください。
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げのHonda販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

本機(ナビゲーション)を第三者に譲渡・転売、または破棄される場合には以下の内容をご留意の上、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

■お客様のプライバシー保護のために…

- ・ハードディスクおよびメモリーに保存された個人情報を含む全てのデータ(登録リスト、メンテナンス情報など)を、本書に記載した内容にしたがって初期化(データの消去)するようにしてください。

保証書やアフターサービスの詳細、その他のご不明な点はお買い求めのHonda販売店へご相談ください。

機能

FM/AM CD/DVD Music Rack USB iPod SD Digital TV VTR
DSP/SRS CS Auto・イコライザ・フェードバランス・MP3/WMA・ハンズフリー

※上記表のはAV SOURCE画面に表示される各モードボタンを表します。

※iPodを接続するには別売のUSB接続ジャックと別売のiPod接続コードが必要になります。[P.17]

※USBを接続するには別売のUSB接続ジャックとUSBメモリーデバイスコードが必要になります。[P.16]

※VTR機器を接続するには別売のVTRコードが必要になります。[P.3]

- Bluetooth対応装置には技術基準適合認定を受けた無線機器を搭載しております。

 T A11-0141005
R 005WWCA0568

- 本製品には、以下の Mozilla Public License の適用を受けるソフトウェアが含まれています。

- ・以下のオリジナルコードからの派生コード

- js-1.5.tar.gz

- ・上記オリジナルコードの初期開発者

- Netscape Communications Corporation

お客様は、以下のホームページに掲載される Mozilla Public License の条件に従い、上記ソフトウェアのソースコードを入手する権利があります。上記ソフトウェアのソースコードの入手方法については、以下のホームページをご覧ください。

<http://panasonic.jp/car/cus/info/license/Mozilla/>

なお、ソースコードの中身についてのご質問にはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

また、上記以外の当社が所有権を有するソフトウェアモジュールについては、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ホームページに掲載されるファイル情報	
・修正内容(2011年6月20日公開)	diff.pdf
・修正されたソースコード(2011年6月20日公開)	JS.zip
・Mozilla Public License(2011年6月20日公開)	Mozilla Public License.pdf

4 目 次

基本操作／共通

A-1

各部の名称とはたらき	A-2
パネル部CLOSE状態	A-2
パネル部OPEN状態	A-2
基本操作	A-4
映像の表示について	A-6
ディスクを入れる／取り出す	A-6
SDカードを入れる／取り出す	A-7
miniB-CASカードを入れる／取り出す	A-8
オーディオをOFFする	A-9
設定の保持について	A-9
ページのスクロールについて	A-9
AV MENU画面について	A-10
AV SOURCE画面のモードボタンについて	A-11
時計を表示する	A-12
パネル部のボタンで選曲する	A-13
早戻し／早送りをする	A-14
リピート／ランダム／スキャン／シャッフル再生	A-15
音量を調整する	A-19
音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する	A-20
音声はそのまま、画面を消す	A-21
動作モード(音楽／画像)を切り替える	A-22
画像ファイルを表示させる	A-23
スライドショーを表示する	A-23
画像を回転させる	A-24
リストより画像を選択する	A-24
画質調整のしかた	A-25
画質調整を初期値に戻す	A-27
音場の設定をする	A-28
イコライザー(音質)の設定をする	A-31
イコライザーの値を初期値に戻す	A-33
スピーカーの設定をする	A-34
フェード・バランスの調整をする	A-36
車速連動音量を設定する	A-38

録音設定／データ管理

B-1

録音設定／データ管理について	B-2
再生可能メディアについて	B-3
CDの録音方法(自動／手動)を選択する	B-4
CDを録音する	B-6
録音方法／録音音質を選択し、録音を開始する	B-6
Music Rackの機能／構成について	B-8
Music Rackへ録音時の注意点について	B-9
Music Rackの使用容量を確認する	B-10
音楽データを修復する	B-11
音楽データを初期化する	B-12
ローカル／カスタムアップデートについて	B-13
タイトル情報更新の流れについて	B-13

ローカルアップデート／カスタムアップデートをする	B-15
Gracenoteデータベースのデータを初期化する	B-20

FM／AMを聞く

C-1

各部の名称とはたらき	C-2
タッチパネル部について	C-2
表示部について	C-3
FM／AM放送を切り替える	C-4
選局する	C-4
プリセット(メモリー)する	C-8
交通情報を受信する	C-10
道路交通情報を受信する	C-10
道路交通情報の受信を止める	C-11

CD／MP3／WMAを聞く

D-1

各部の名称とはたらき	D-2
タッチパネル部について	D-2
表示部(再生画面)について	D-3
未録音CDを挿入すると	D-4
好きなフォルダを選ぶ	D-4
トラックリストより好きなトラックを選ぶ	D-5
MP3／WMAファイルについて	D-6

Music Rackを使う

E-1

各部の名称とはたらき	E-2
タッチパネル部について	E-2
表示部(再生画面)について	E-3
リスト表示より好きなトラックまたは アルバムを選ぶ	E-4
選曲モードより選ぶ	E-6
アルバムリストの編集(曲管理)	E-14
アルバム編集をする	E-14
再生選択をする	E-19
お気に入り登録をする	E-20
ジャケット写真を登録する	E-21
削除する	E-22
トラックリストの編集(曲管理)	E-23
トラック編集をする	E-23
再生選択をする	E-26
お気に入り登録をする	E-27
削除する	E-27
お気に入りを管理する	E-28
再生中の曲をお気に入り登録する	E-30
再生中の曲のジャンルと ミュージックエスコートを設定する	E-32

USB機器を使う(USBフラッシュメモリ/ウォークマン®) F-1

各部の名称とはたらき	F-2
音楽再生(音楽ファイルモード)の タッチパネル部について	F-2
音楽再生(音楽ファイルモード)の 表示部(再生画面)について	F-3
画像再生(画像ファイルモード)の タッチパネル部について	F-4
画像再生(画像ファイルモード)の 表示部について	F-4
好きなトラックまたはフォルダを選ぶ	F-5
選曲モードより選ぶ	F-9
USB機器について	F-13
ウォークマン®について	F-14
対応可能なウォークマン®	F-15
USB機器を接続する	F-16
USB機器を本機に接続する	F-16
USB機器の接続をやめる	F-16

iPodを使う G-1

各部の名称とはたらき	G-2
タッチパネル部について	G-2
表示部(再生画面)について	G-3
トラックリストより好きなトラックを選ぶ	G-4
選曲モードより選ぶ	G-5
再生を一時停止する	G-10
映像データを再生させる	G-11
iPodについて	G-15
iPodとは	G-15
使用上のご注意	G-15
対応可能なiPod	G-16
iPodを本機に接続する	G-17

SD(SDカード) H-1

各部の名称とはたらき	H-2
音楽再生(音楽ファイルモード)の タッチパネル部について	H-2
音楽再生(音楽ファイルモード)の 表示部(再生画面)について	H-3
画像再生(画像ファイルモード)の タッチパネル部について	H-4
画像再生(画像ファイルモード)の 表示部について	H-4
リスト表示より好きなトラックまたは フォルダを選ぶ	H-5
選曲モードより選ぶ	H-7

SDカードについて	H-9
再生可能なデータについて	H-11
音楽ファイルのデータについて	H-11
画像ファイルのデータについて	H-12

DVDを見る I-1

各部の名称とはたらき	I-2
タッチパネル部について	I-2
DVDプレーヤーを使う	I-4
再生を停止する	I-5
再生を一時停止(静止)する	I-6
再生中にチャプターを戻す/進める	I-7
コマ戻し/コマ送りをする	I-8
スロー戻し/スロー送りをする	I-9
DVDメニューを使う	I-10
タイトルメニューを使う	I-12
好きな所から再生する(サーチ選択)	I-14
音声言語/字幕言語を切り替える	I-16
時間の表示を替える	I-17
リピート(繰り返し)再生する	I-18
アングル(角度)を切り替える	I-19
VRモードディスク内の映像をリストより選択し 再生させる	I-20
DVDの初期設定について	I-22
初期設定を変更する	I-22
DVDビデオについて	I-30
ディスクに表示されているマークについて	I-30
VRモードで作成したディスクについて	I-31
ディスクの構成について	I-31

Digital TV(12セグ/ワンセグ)を見る J-1

各部の名称とはたらき	J-2
バー表示について	J-2
タッチパネル部について	J-4
DTVメニューについて	J-8
Digital TV(12セグ/ワンセグ)を見る	J-9
Digital TVモードにすると	J-9
番組表を見る	J-10
視聴エリアの変更(地方/県域の設定)をする	J-12
中継局を探す	J-13
スキャンする	J-14
初期スキャン/再スキャンをする	J-14
選局する	J-16
手動選局で放送局を選ぶ	J-16
自動選局で放送局を選ぶ	J-16
プリセットで放送局を選ぶ	J-17
リストで放送局を選ぶ	J-18

プリセットボタンにメモリーする	J-20
エリア呼出／プリセット呼出について	J-21
チャンネルリスト／プリセットリストを クリアする	J-22
設定をする	J-24
映像を切り替える	J-24
音声を切り替える	J-25
郵便番号設定	J-26
自動切替(12セグ・ワンセグ)の設定をする	J-27
中継局と系列局サーチの自動／手動の設定を する	J-28
サービスの設定をする	J-29
チャンネル設定	J-30
時計表示設定	J-32
文字スーパーを切り替える	J-34
字幕表示を切り替える	J-36
受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、 受信する	J-38
miniB-CASカードのテストをする	J-40
放送局からの情報を見る	J-41
設定を初期化する	J-42
データ放送を利用する	J-43
リレーサービスの番組を見る	J-46
臨時サービスの番組を見る	J-47
緊急放送を見る	J-48
受信中に緊急放送が始まると	J-48
エラーコードについて	J-49
テレビについて	J-50
地上デジタルテレビ放送について	J-50
地上デジタルテレビ放送の番組受信について	J-50
地上デジタルテレビ放送のチャンネル変更 (リパック)について	J-51
miniB-CASカードについて	J-52
miniB-CASカードに関するお問い合わせ先に ついて	J-53

VTRを使う

K-1

各部の名称とはたらき	K-2
タッチパネル部について	K-2
接続する	K-3

ハンズフリーを使う

L-1

初期登録設定	L-2
携帯電話を登録する	L-2
登録した携帯電話の詳細情報を見る／削除する	L-5
携帯電話の割り当てを切り替える	L-7
登録携帯電話の自動接続の設定をする	L-8
登録携帯電話の優先接続の設定をする	L-9

ハンズフリーの通話設定をする	L-10
車載機(本機)のBluetooth情報を見る	L-11
デバイス名／パスキーを変更する	L-12
携帯電話のメモリを本機に登録する	L-14
電話を受ける	L-16
着信音量を調整する	L-16
電話に出る	L-16
保留にする	L-17
通話を拒否(終了)する	L-18
通話中に自分の声を相手に聞こえないようにする (ミュート)	L-18
通話を携帯電話に切り替える	L-19
トーン入力する	L-20
電話をかける	L-21
電話番号から	L-21
リダイヤルから	L-23
履歴から	L-23
アドレス帳から	L-26
発着履歴を削除する	L-28
通話中に地図画面を表示する	L-29
ハンズフリーについて	L-30
Bluetoothとは	L-30
ハンズフリーとは	L-30
音声について	L-30
安全上のご注意	L-30
使用上のご注意	L-31
QQ コールを利用する	L-32
QQ コールとは	L-32
QQ コールを利用するまでの流れ	L-32
QQ コールを表示する	L-33

その他

M-1

カスタマイズ(Quick)機能について	M-2
画像ファイル(JPEG)について	M-3
本機で再生できるディスクについて	M-4
データベースについて	M-6
オーディオ リモコン スイッチ	M-8
リア席モニターについて	M-10
個人情報の取り扱いについて	M-11
工場出荷状態に戻す	M-11
放送局一覧	M-12
初期設定一覧	M-14
故障かな?と思ったら	M-15
メッセージ表示について	M-31
用語説明	M-34
索引	M-40

※本説明書の画像やイラストは操作を円滑にするためのイメージであり、撮影・印刷条件等により実物(実機)と印象が相違する場合がありますのでご了承ください。

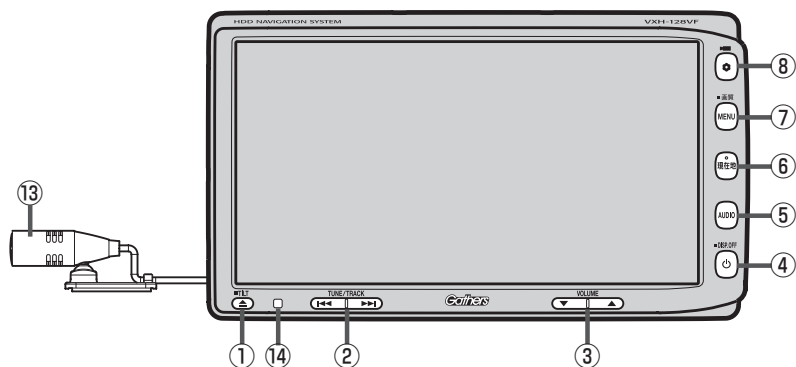
基本操作／共通

各部の名称とはたらき	A-2
パネル部 CLOSE 状態	A-2
パネル部 OPEN 状態	A-2
基本操作	A-4
映像の表示について	A-6
ディスクを入れる／取り出す	A-6
SDカードを入れる／取り出す	A-7
miniB-CASカードを入れる／取り出す	A-8
オーディオをOFFする	A-9
設定の保持について	A-9
ページのスクロールについて	A-9
AV MENU 画面について	A-10
AV SOURCE 画面のモードボタンに ついて	A-11
時計を表示する	A-12
パネル部のボタンで選曲する	A-13
早戻し／早送りをする	A-14
リピート／ランダム／スキャン／ シャッフル再生	A-15

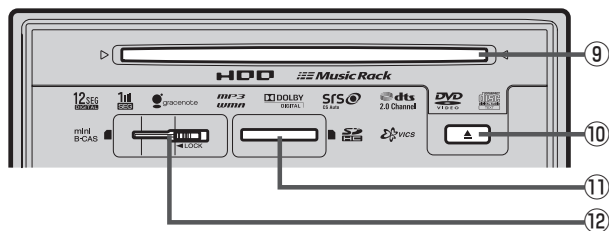
音量を調整する	A-19
音声はそのまま、ナビゲーション画面を 表示する	A-20
音声はそのまま、画面を消す	A-21
動作モード(音楽／画像)を切り替える	A-22
画像ファイルを表示させる	A-23
スライドショーを表示する	A-23
画像を回転させる	A-24
リストより画像を選択する	A-24
画質調整のしかた	A-25
画質調整を初期値に戻す	A-27
音場の設定をする	A-28
イコライザー(音質)の設定をする	A-31
イコライザーの値を初期値に戻す	A-33
スピーカーの設定をする	A-34
フェード・バランスの調整をする	A-36
車速連動音量を設定する	A-38

A-2 各部の名称とはたらき

パネル部CLOSE 状態



パネル部OPEN 状態



① ボタン(TILT)

- パネルをオープンさせて、ディスクやSDカード／miniB-CASカードを出し入れするときに使用します。
 - ・ディスク  A-6
 - ・SDカード  A-7
 - ・miniB-CASカード  A-8
- 長押しで画面の角度を調整することができます。

② ボタン

- 好きな曲／ファイル／チャプター／放送局を選びます。
 - ・CD／MP3／WMA／Music Rack／USB／iPod／SD  A-13
 - ・FM／AM  C-4
 - ・Digital TV  J-16
 - ・DVD  I-7
- 長押しすると早戻し／早送り／自動選局を行ないます。
 - ・CD／MP3／WMA／Music Rack／USB／iPod／SD  A-14
 - ・FM／AM  C-4
 - ・Digital TV  J-16
- 一時停止中にコマ戻し／コマ送り／スロー戻し／スロー送りを行ないます。
 - ・DVD  I-8

③ ボタン(VOLUME)

オーディオの音量を調整します。  A-19

④ ボタン

- AV電源をON／OFFするときに使用します。
 A-9
- 2秒以上長押しで画面を消します。  A-21

⑤ ボタン

AV SOURCE画面を表示します。  A-11

※ナビゲーション画面／オーディオ画面から他のオーディオ画面を表示させる(モードの切り替えをする)ときに使用します。

⑥ 現在地 ボタン

ナビゲーション画面を表示します。

 A-20、L-29

⑦ MENU ボタン

- AV MENU画面を表示します。
 A-10、28、31、34、36、38
B-4、10、11、12、15、20
- 長押しすると画面調整画面または画質調整画面を表示します。  A-25
- DVDモードの場合、押すたびに
 - ▶ 操作ボタン有 → AV MENU画面
 - ← 操作ボタン無
 を繰り返します。

⑧ ボタン(オプション)

- 別売のフロントカメラ／コーナカメラ映像画面を表示します。
- オプションボタン設定画面で選択した機能の操作をします。
 別冊 取扱説明書(ナビゲーション編)G-3

⑨ ディスク挿入口 A-6⑩ ボタン(イジェクト)⑪ SDカード挿入口 A-7

⑫ miniB-CASカード挿入口

12セグを視聴する場合はminiB-CASカードを挿入します。  A-8

⑬ マイク

ハンズフリー通話時に使用します。

 L-30

⑭ リモコン受光部

別売のリモコンを使用してDVDの操作などを行うことができます。

 別冊 取扱説明書(ナビゲーション編)H-14～H-21、H-51



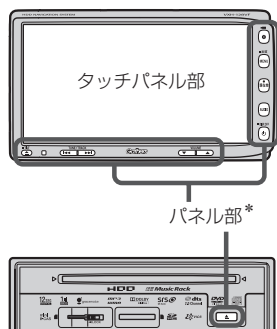
アドバンス

- 画面に表示されるタッチパネル部のボタンにつきましてはそれぞれを参照ください。

- ・FM/AM  C-2
- ・CD/MP3/WMA  D-2
- ・Music Rack  E-2
- ・USB  F-2
- ・iPod  G-2
- ・SD  H-2
- ・DVD  I-2
- ・Digital TV  J-2
- ・VTR  K-2

- 車両にオーディオ リモコン スイッチが装着されている場合は、オーディオ リモコン スイッチで本機のAV機能を操作することができます。  「オーディオ リモコン スイッチ」M-8

A-4 基本操作



本書では、
タッチパネル部のボタンは画面の“〇〇ボタンをタッチする”
パネル部*のボタンはパネルの“〇〇ボタンを押す”と記載しています。
(*印…使用するボタンは白色表示しています。)

※本書のマークについて



……………本機を使ううえで知っておいていただきたいこと、
知っておくと本機を上手に使うことができ便利です。

A-1 ……………アルファベットは章、数字は章のページを表します。



お願い ……お車のために守っていただきたいことを表しています。



……………画面上でタッチパネル操作を表します。



■/□ ……操作手順が次のステップで分かれるときの案内をします。
: ……………操作を行なった結果を説明します。

MENU ……パネル部のボタンを表します。

FM/AM ……タッチパネル部のボタンを表します。

- ナビゲーション画面とはナビゲーションモード時を示します。
- オーディオ画面(オーディオモード画面)とはFM/AM/CD/MP3/WMA/DVD/MusicRack/USB/iPod/SD/Digital TV/VTRモード時を示します。

※ iPodビデオと記載している場合は映像データを表します。

すでに液晶ディスプレイが表示状態になっている場合は、手順 **2** (A-5)へ進んでください。

1

車のエンジンスイッチをⅠ(アクセサリ)またはⅡ(ON)に入れる。

: 起動初期画面を表示した後、前回電源を切る前に表示していたモードの画面になります。

※ディスプレイの角度を変える場合は別冊の取扱説明書 ナビゲーション編 B-4を参照してください。



起動初期画面



モード表示画面(USBモード画面(例))



アイコン表示
(USBモード選択中)



注意

車のエンジンスイッチをⅠ(アクセサリ)の状態(エンジンを停止したまま)で長時間使用しないでください。

車のバッテリーがあがる恐れがあります。

2

AUDIO を押す。

： AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。ラストモード画面から他のモードに変えたい場合はもう一度 **AUDIO** を押して AV SOURCE画面を表示させてください。

* 印…前回最後に選択していたモード画面(OFF 含む)

ディスク／SDカード未挿入または外部接続機器未接続の場合は
挿入または接続してください。

 A-6、K-3

3

操作したいモード(**FM/AM** ／ **CD/DVD** ／ **Music Rack** ／ **USB** ／
iPod ／ **SD** ／ **Digital TV** ／ **VTR**) をタッチする。

： 選択したそれぞれのモード画面が表示されます。

AV SOURCE画面



■ 操作したいモード画面が表示された場合

①  それぞれの項目をご覧ください、ご希望の操作を行なってください。

- | | |
|---|--|
| ・ FM/AM  C-1 | ・ CD / MP3 / WMA  D-1 |
| ・ MusicRack  E-1 | ・ USB  F-1 |
| ・ SD  H-1 | ・ DVD  I-1 |
| ・ VTR  K-1 | ・ iPod  G-1 |
| | ・ Digital TV  J-1 |

※音楽再生をしていた場合は前回のつづきから再生を始めます。

映像の表示について



安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ映像をご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

※映像を表示するモードはDVD／iPodビデオ／Digital TV／VTRとなります。

※別売のリア席モニターを接続している場合、走行中でも映像をご覧いただけます。

DVDモード画面(走行中)(例)



ディスクを入れる／取り出す

1

(TILT)を押す。

：ディスプレイが開きます。

2

ディスクを入れる／取り出す。

■ ディスクを入れる場合

① ディスク挿入口にディスクを挿入する。

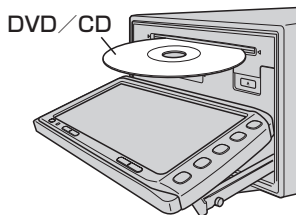
：自動でディスプレイが閉じ、再生を始めます。

※未録音の音楽CDを挿入した場合は録音を開始します。 B-5

■ ディスクを取り出す場合

① (イジェクト)を押す。

※ディスプレイを閉じる場合は、 (TILT)を押してください。



アドバース

- CDを取り出して再度再生を始めると、ディスクの最初の曲の頭から再生が始まります。
- DVDディスクを取り出して再度再生を始めるとリジューム再生(つづきから再生)を行ないます。
- 再生中に車のエンジンスイッチを変更した場合は、次にエンジンスイッチをⅡ(ON)にすると、前に再生していたつづきから再生を始めます。
- ディスプレイが開いた状態のとき、車のエンジンスイッチをO(ロック)にした場合は、 (TILT)を押すとディスプレイ部を閉じることができます。
- ディスクを取り出したときは、自動でディスプレイ部は閉じません。
- 長時間で使用になった後ディスクが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。



ディスプレイ部を開閉するときは手などをはさまないように注意してください。けがや、ディスプレイ部の故障の原因になります。



お願い

- ディスクを挿入するときは、他のディスクが挿入されていないことを確認してから挿入してください。すでにディスクが入っていて2枚目を挿入しようとすると、ディスクにキズがつき故障の原因になります。
- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当たったり、思わぬけがをするおそれがあります。
- ディスク挿入途中に (TILT)を押さないでください。ディスクがディスプレイ部にはさまれ、ディスクの破損またはディスプレイの故障の原因になります。

SDカードを入れる／取り出す

1

▲ (TILT) を押す。

：ディスプレイが開きます。

2

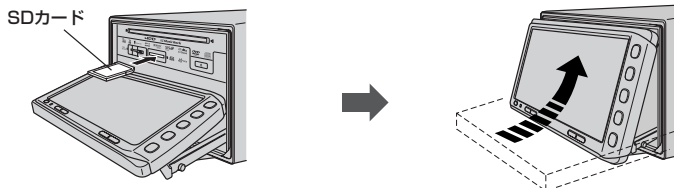
SDカードを入れる／取り出す。

■ SDカードを入れる場合

① SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

：自動でディスプレイが閉じます。

※ SDモードを選択している場合は再生を始めます。



■ SDカードを取り出す場合

① SDカードを1回押して取り出す。

※ ディスプレイを閉じる場合は、▲ (TILT) を押してください。



アドバース

- SDカードを取り出して再度同じSDカードを挿入し再生を始めると、前に再生していたつづきから再生を始めます。
※ SDカード認識中に取り出した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。
- ディスプレイが開いた状態のとき、車のエンジンスイッチをO(ロック)にした場合は、▲ (TILT) を長押しするとディスプレイ部を閉じることができます。
- SDカードを取り出したときは、自動でディスプレイ部は閉じません。
- 長時間SDカードを挿入していると、SDカードが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。



ディスプレイ部を開閉するときは手などをはさまないように注意してください。けがや、ディスプレイ部の故障の原因になります。



お願い

- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当たったり、思わぬけがをするおそれがあります。
- 再生中にSDカードを取り出すとデータがこわれたり、SDカードが破損する恐れがあります。必ずSDモードを終了(AV電源をOFF)して取り出してください。[A-9]
- SDカード挿入途中で▲ (TILT) を押さないでください。SDカードがディスプレイ部にはさまれ、SDカードの破損またはディスプレイの故障の原因になります。

miniB-CASカードを入れる／取り出す



お願い

- 地上デジタルテレビ放送の受信機には、1台に1枚ずつ、ID(識別)番号の異なるminiB-CAS(ビーキャス)カードが付属されています。地上デジタルテレビ放送を視聴するときは、miniB-CASカードを本機に挿入してご使用ください。miniB-CASカードを挿入しないと地上デジタルテレビ放送が視聴できません。
- miniB-CASカードのIC(集積回路)部に触れたり、汚したり、カードに衝撃を加えたり、折り曲げたりすると使用できなくなることがありますので、大切に取り扱いしてください。

「miniB-CASカードについて」J-52

1

A-7手順1にしたがって操作する。

2

カードを入れる／取り出す。

※ miniB-CASカードを出し入れするときは付属の「落下防止シート」を使用してください。
使用方法につきましては、シートに記載の手順およびイラストを参照ください。

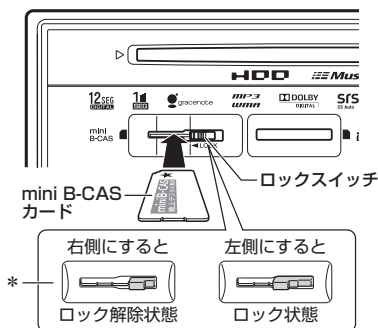
■ miniB-CASカードを入れる場合

- ① miniB-CASカード挿入口に
miniB-CASカードを挿入する。

※ ロックスイッチが解除状態になっていることを確認し、★の付いた面を上にして、↑(矢印イラスト)の方向に奥まで挿入してください。

- ② ロックスイッチを左側へ“カチッ”と音がするまでスライドさせる。

：miniB-CASカードがロックされます。

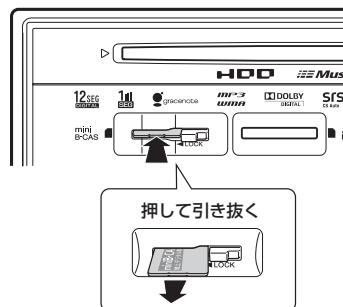


■ miniB-CASカードを取り出す場合

- ① ロックスイッチを右側へ“カチッ”と音がするまでスライドさせる。
(上記*印ふき出し参照)

※ ロック解除されます。

- ② miniB-CASカードを1回押し、挿入口から少し出ている部分を持って引き抜く。



3

▲ (TILT)を押す。

: ディスプレイが閉じます。



お願い

- miniB-CASカード挿入口(図A-8)にはminiB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- ロック状態(ロックスイッチ左側状態)でminiB-CASカードを入れる／取り出そうとすると、ロックスイッチがこわれる原因となります。必ずロックスイッチは右側(ロック解除)状態でminiB-CASカードを入れる／取り出してください。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えるとminiB-CASカードは機能しません。また、故障の原因となります。
- miniB-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CASテストを行なってください。
図「miniB-CASカードのテストをする」J-40

オーディオをOFFする

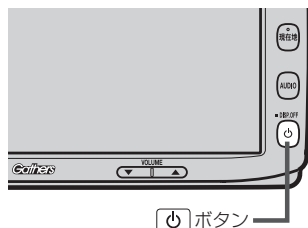
1

⏻を押す。

: 画面に“OFF”と表示されオーディオの各モードを終了します。

もう一度押すと、AV電源をONします。

※前回、音楽またはDVDを再生していた場合はつづきから再生を始めます。



⏻ ボタン



アドバース

録音中の場合、CDモードを終了しても(再生を止めても)録音は継続されます。

設定の保持について

決定のある画面では、決定をタッチすると設定が保持されます。

決定をタッチしないで戻るをタッチまたは[MENU]／[現在地]を押すと設定は保持されません。

※ 決定のない画面では各設定のボタンを選択した時点で設定確定(設定保持)となります。

(例：映像／オーディオ調整など)

ページのスクロールについて

次ページがある場合、▲／▼タッチでページのスクロール(戻し／送り)表示することができます。

※走行中はスクロールできません。

AV MENU画面は **AUDIO** または **MENU** を押して表示させます。そのとき、選択するボタン (**AV SOURCE** / **AUDIO設定** / **システム設定**) によってAV SOURCE、AUDIO 設定またはシステム設定に関するそれぞれのボタン表示となります。

● **AUDIO** を押した場合



★1 印…ナビゲーション画面のときはAV MENUまたはラストモードを、オーディオ画面のときはAV MENUを表示します。

※ラストモードのときは、もう一度 **AUDIO** を押すとAV MENUを表示します。

● **MENU** を押した場合



※AUDIO 設定画面／システム設定画面は最終選択時の状態を保持するため、状態によっては **AUDIO 設定** または **システム設定** 選択の操作は省略することができます。

※ **システム設定** 選択時に表示されるAV MENUの各機能につきましては **別冊**の取扱説明書(ナビゲーション編)「各種設定をする」G-2を参照ください。

★2 印…ナビゲーション画面のときに **MENU** を押すとNAVI MENUが表示されるので **AUDIO** を押して*AV MENUを表示させてください。(★1 印…ラストモードのときは、もう一度 **AUDIO** を押します。)



アドバイス

AV MENU画面(例)



●表示させたAV MENU画面は、**MENU** / **AUDIO** のどちらを押して表示させたかにかかわらず、**AV SOURCE** / **AUDIO設定** / **システム設定** を選択できます。

●★1 印… **交通情報** をタッチすると交通情報画面を表示します。
C-10

●★2 印… **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。

AV SOURCE画面

基本操作
共通



選択可能モードはイラストおよび文字を表示

選択不可能モードはイラストおよび文字が灰色表示



※ USB 機器(USB フラッシュメモリ/ウォークマン®)未接続/SD カード未挿入の場合、それぞれのモードでメッセージが表示されます。



ヘッドユニット

- Music Rack モードを使用するにはあらかじめCDを本機に録音しておく必要があります。[P B-5]
- iPod モードを使用するにはiPod本体と別売のiPod接続コードを別売のUSB接続ジャックに接続しておく必要があります。[P G-17]
 - ※ USB 機器接続時はiPod使用不可となります。
- USB モードを使用するには、USB 機器(USB フラッシュメモリ/ウォークマン®)を別売のUSBメモリーデバイスコードに接続しておく必要があります。[P F-16]
 - ※ iPod 接続時はUSB機器使用不可となります。
- SD モードを使用するにはSDカードを本機に挿入しておく必要があります。

A-12 時計を表示する

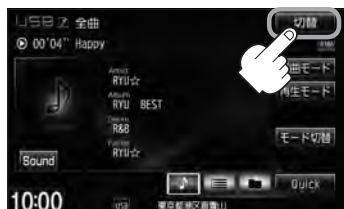
時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。

1 各モードのTOP画面で、**切替**をタッチする。

：画面中央に時計が大きく表示されます。

※画像・映像を表示するモードの場合、本設定はできません。

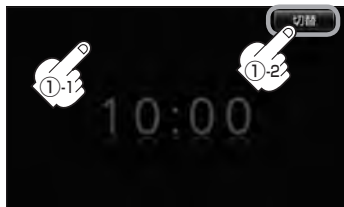
オーディオモード画面
(USBモード画面(例))



■ 再度、画面を表示する場合

① 画面をタッチし、**切替**をタッチする。

：手順 **1** で表示させていたモードの再生画面が表示されます。



アドバンス

音声はそのままで全画面を消すこともできます。(時計表示もなし)

🔊 「音声はそのまま、画面を消す」A-21

操作パネル上のボタンを押して1曲ずつトラックを戻したり進めたりすることができます。

1

⏮ ⏭ (トラック*¹)を押す。

：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。



1 ⏮ ⏭ ボタン(トラック)

■ 前のトラックに戻る場合

⏮ を2回押す。

※ 1 回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。^{*2}

■ 次のトラックに進む場合

⏭ を押す。



アドハイス

● 画面をタッチして各モードのトラックリストより選択することもできます。

・ CD / MP3 / WMA  D-5

・ Music Rack  E-4

・ USB  USB...F-5

 ウォークマン®...F-7

・ iPod  G-4

・ SD  H-5

● 音楽CD録音(REC)中トラックを戻す／進めることは操作できません。

● * 1 印...FM / AM / Digital TV モードでは選局、DVD モードではスキップと呼び名を変えています。

・ FM / AM  C-4

・ Digital TV  J-16

・ DVD  I-7

● * 2 印...CD / MP3 / WMA / iPod モードのとき、トラック再生開始2秒以内に押した場合は、前のトラックの頭に戻ります。

1

⏮ ⏭ (トラック／スキップ)を押し続ける。

：早戻し／早送りをします。

※DVDモードの場合、通常の6倍の速さでの早戻し／早送りをします。



1 ⏮ ⏭ ボタン(トラック)

■ 早戻しで戻る場合

⏮ を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

⏭ を押し続ける。

再生状態表示

▶ ：通常再生

⏭ ：早送り

⏮ ：早戻し

音楽再生の場合(例)



アドバイス

- それぞれのボタンから手を離したところで通常再生を始めます。
- 音楽CD録音(REC)中の早戻し／早送りはできません。
- FM／AM／Digital TVモードのときに押し続けると自動選局を開始します。
 - ・FM／AM C-4
 - ・Digital TV J-16

再生モード(リピート／ランダム／スキャン／シャッフル)を選択することができます。

1

再生モード をタッチする。

：画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

*印…手順 **2** で選択した再生モードが
マーク表示されます。

SDモード TOP画面(例)



2

再生したいモード(**リピート**／**ランダム**／**スキャン**／**シャッフル**)を選択する。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① **リピート** をタッチする。

：表示灯点灯し、リピート再生されます。

※ **リピート** をタッチすることにより下記の
ように用途が変わります。

再生モード選択画面



選択中の再生モード 選択時点灯
の状態を表示

CD／Music Rack／USB／iPod／SD
モードの場合

今聞いているトラックのリピート再生

(表示灯点灯／TOP画面のとき

REPEAT TRACK マーク表示有)



通常再生(リピート解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

MP3／WMAモードの場合

今聞いているトラックのリピート再生

(表示灯点灯／TOP画面のとき

REPEAT TRACK マーク表示有)



今聞いているフォルダのリピート再生

(表示灯点灯／TOP画面のとき

REPEAT FOLDER マーク表示有)



通常再生(リピート解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

■ ランダム(順序不同)再生する場合

① **ランダム** をタッチする。

：表示灯点灯し、ランダム再生されます。

※ **ランダム** をタッチすることにより下記の
ように用途が変わります。

再生モード選択画面



選択中の再生モード 選択時点灯
の状態を表示

CDモードの場合

ディスク内の曲をランダム再生

(表示灯点灯／TOP画面のとき

RANDOM マーク表示有)



通常再生(ランダム解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

MP3／WMAモードの場合

選曲中フォルダ内の曲をランダム再生

(表示灯点灯／TOP画面のとき

RANDOM マーク表示有)



通常再生(ランダム解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

Music Rack／USB／SDモードの場合

今聞いているリストの中からランダム再生

(表示灯点灯／TOP画面のとき

RANDOM マーク表示有)



通常再生(ランダム解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)



アドバース

ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。

■ スキャン(イントロ)再生する場合

① **スキャン** をタッチする。

：表示灯点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

※ **スキャン** をタッチすることにより下記のように用途が変わります。

再生モード選択画面



選択中の再生モード 選択時点灯の状態を表示

CD／MP3／WMAモードの場合

ディスク内の曲をスキャン再生

(表示灯点灯／TOP画面のとき)

SCAN マーク表示有)

通常再生(スキャン解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

Music Rack／USB／SDモードの場合

今聞いているリストの中からスキャン再生

(表示灯点灯／TOP画面のとき)

SCAN マーク表示有)

通常再生(スキャン解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)



アドバンス

スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。

■ シャッフル(順序不同)再生する場合 ※ iPodモードのみ

① **シャッフル** をタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モード 選択時点灯の状態を表示

：表示灯点灯し、シャッフル再生されます。

※ **シャッフル** をタッチすることにより下記のように用途が変わります。

今聞いているリストの中からシャッフル再生

(表示灯点灯／TOP画面のとき)

SHUFFLE TRACK マーク表示有)

今聞いているリストをアルバムごとにシャッフル再生

(表示灯点灯／TOP画面のとき)

SHUFFLE ALBUM マーク表示有)

通常再生(シャッフル解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

3

設定を終えるには、**閉じる** をタッチする。

：選択中モードのTOP画面に戻ります。



アドバイス

- 録音(REC)中はCDモードの再生モード操作はできません。
- マーク表示中はそれぞれのモード再生を繰り返します。
- CDモードでリピート／ランダム／スキャン再生を設定している場合に録音(REC)を行なうと設定は解除されます。
- Music Rackモードの選曲モード(⏮ E-7)がミュージックエスコートのとき、ランダム／スキャン再生はできません。

Music Rackモード

ミュージックエスコート選択時



リピート再生のみとなります。

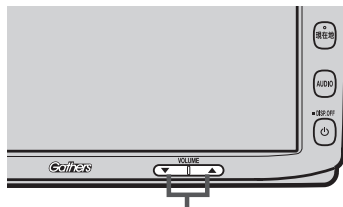
1

▼ ▲ (VOLUME) を押す。

：画面に現在の音の大きさ(0～40)を示す
音量表示が表示されます。

音量表示は約2秒間表示されます。

※押しつづけて調整することもできます。



▼ ▲ (VOLUME) ボタン

▲側を押すと音量を上げます。
(大きくなります。)

▼側を押すと音量を下げます。
(小さくなります。)

SDモード(例)



音量表示



アドバンス

- ナビゲーションの音声案内の音量調整は上記操作では調節できません。(画面をタッチして調整します。)
別冊の取扱説明書(ナビゲーション編)「音声案内の音量調整／案内設定をする」F-30
- DVD/VTRモードの場合、音量は各モードで個別に設定できます。
-  (オプション)にミュート機能を設定している場合は、このボタンを押して音を消すことができます。
別冊の取扱説明書(ナビゲーション編)「オプションボタンの設定をする」G-3

音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する

今のモードの音声を聞きながら、地図を見たり、ナビゲーションの操作をすることができます。

1 各モードの画面で、**現在地**を押す。

：音声はそのまま、画面がナビゲーション画面に変わります。



■ 今聞いているモードの画面に戻す場合

① **AUDIO**を押す。

：今聞いているモードの画面に戻り、操作が可能になります。

再度、ナビゲーション画面を表示する場合は、**現在地**を押してください。



アドバンス

音量調整や **⏮ ⏭** を使っての操作は、ナビゲーション画面のままでもできます。

画面を消して、音声のみ聞くことができます。

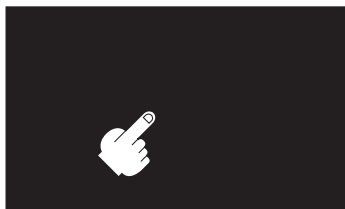
1

 を2秒以上押す。

：画面のバックライトが消えて、黒くなります。

■ 再度、画面を表示する場合

① 画面をタッチする。



：画面のバックライトが点灯し、画面が表示されます。

※  を押しても画面を表示させることができます。

動作モード(音楽／画像)を切り替える

SD／USBモードのとき、再生させたいファイル(音楽／画像)に切り替えます。

1

モード切替 をタッチする。

：モード切替画面が表示されます。

※映像データを再生中の場合は、画面をタッチして操作ボタンを表示させてください。

SDモード画面(例)



アドハイス

☆印…手順 2 で選択したファイルの種類(動作モード)が表示されます。

・音楽ファイル…

・画像ファイル…

2

再生させたいファイルの種類(**音楽ファイル** ／ **画像ファイル**)をタッチする。

■ **音楽ファイル** をタッチした場合

：MP3／WMA／AACなどの音楽ファイルを再生します。

USB…F-2

SD…H-2

■ **画像ファイル** をタッチした場合

：JPEG画像を表示します。

USB…F-4

SD…H-4

モード切替画面



SD／USBモードのとき、画像を本機に表示させることができます。画像は回転させたり、スライドショーをすることができます。

※ SD／USBモードの場合、JPEG 画像の入ったSD／USB 機器(USB フラッシュメモリ／ウォークマン[®])を本機に挿入／接続しておく必要があります。

〔A〕SD 挿入…A-7／〔B〕USB 機器を接続…F-16

1 〔A〕A-22 手順 1 にしたがって操作し、手順 2 のとき **画像ファイル** をタッチする。

：操作ボタンと共に画像が表示されます。

※すでに画像が表示されている場合は上記操作の必要はありません。

2 操作したい項目(**スライドショー**／**回転**／**リスト**)をタッチする。

- スライドショー…
〔A〕「**スライドショーを表示する**」下記
- 回転…〔A〕「**画像を回転させる**」A-24
- リスト…〔A〕「**リストより画像を選択する**」A-24

SD モード(画像ファイル)の場合
〔A〕「各部の名称とはたらき」H-4



フォルダ内に複数のファイルがある場合、**前へ**／**次へ** タッチで1つ前／後ろのファイルを表示させることができます。

スライドショーを表示する

① 画面をタッチし、操作ボタンを表示させる。

② **開始** をタッチする。



：選択しているフォルダ内のファイル(画像)のスライドショーが開始されます。

スライドショーの再生間隔を変更することができます。

1. **再生間隔** をタッチする。
2. お好みの間隔(**3秒**／**10秒**／**30秒**／**1分**)をタッチする。



：画像が表示され、選択した間隔でスライドショーを行ないます。

■ スライドショーを止める場合

- ① 画面をタッチし操作ボタンを表示させ、**終了** をタッチする。

画像を回転させる

- ① **回転** をタッチする。



：タッチするたびに表示中の画像が
90度ずつ右回転(時計まわり)します。

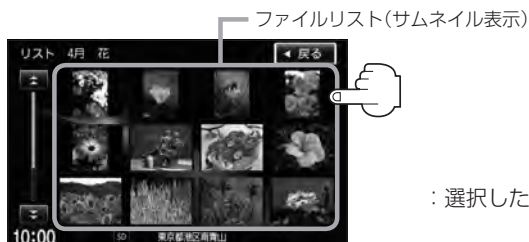
リストより画像を選択する

- ① リストより表示させたいフォルダをタッチする。



：ファイルがサムネイル表示されます。

- ② 表示させたいファイルをタッチする。



：選択したファイル(画像)が表示されます。



アドバイス

画像ファイルのサイズが大きい場合、表示されるまでに時間がかかることがあります。



アドバイス

- 画像表示のとき、操作ボタンを表示させるには画面をタッチしてください。
- 画像ファイルの制限につきましては「 画像ファイル(JPEG)について」M-3を参照ください。

FM／AM／CD／MP3／WMA／Music Rack／USB／iPod／SDモード画面のとき、明るさ／コントラスト調整ができます。iPodビデオ／Digital TV／DVD／VTRモード画面のときは、明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合い／ディスプレイ選択*ができます。(ただし走行中は明るさ／コントラストの調整となります。)



アドバイス

*印…ディスプレイ選択はノーマル／フル／ワイド／シネマの中から表示画面を選択できます。ただし、Digital TVモードの場合はフル固定となります。

- VTRモード画面で音声入力しか接続していない場合、それぞれのボタンは表示されても調整が反映されるのは、明るさ／コントラスト調整となります。
- 画質は、音楽再生のモード(音楽ファイル*)／画像ファイル*の場合、映像を表示するモードの場合で別々に調整することができます。

*印…SD／USBモードのとき動作モード(ファイル)を選択することができます。

1

MENU を2秒以上押す。

：画面右側に画面調整画面または画質調整画面が表示されます。

※映像を表示するモードの場合は下記手順 **2** へ、音楽再生の場合は下記手順 **3** へ進んでください。(Digital TVモードの場合は手順 **3** へ進んでください。)

2

画質調整 をタッチする。

：画質調整画面が表示されます。

画面調整画面(例)



DVD／iPodビデオ／VTRモード画面の場合に表示されます。

「**ディスプレイ選択**」A-27

3

調整したい項目(**明るさ** ／ **コントラスト** ／ **色の濃さ** ／ **色合い**)をタッチする。



アドバイス

音楽再生の場合、**明るさ** ／ **コントラスト** の調整となります。



画質調整画面(例)

映像を表示するモードの場合



4

◀ / ▶ をタッチして値を調整する。



アドバイス

調整はタッチパネルの ▶ または ▶ をタッチしつづけると素早く調整できます。タッチするのをやめると、その値で止まります。お好みの調整レベルでタッチするのを止めてください。

画質調整画面(例)



■ 明るさ(1～31)調整の場合

◀ をタッチすると暗くなり、▶ をタッチすると明るくなる。



アドバイス

車のライトをつけているとき(ON時)とライトを消しているとき(OFF時)とで、それぞれ、明るさをメモリーしています。ライトをつけている／ライトを消しているときの明るさを、それぞれ、お好みの明るさに調整してください。

■ コントラスト(1～31)調整の場合

◀ をタッチすると黒さが増し、▶ をタッチすると白さが増す。

■ 色の濃さ(1～31)調整の場合

◀ をタッチすると淡くなり、▶ をタッチすると濃くなる。

■ 色合い(1～31)調整の場合

◀ をタッチすると赤が強くなり、▶ をタッチすると緑が強くなる。



アドバイス

人間の肌色が自然な感じになるように調整してください。

■ ディスプレイ選択の場合 (DVD / iPodビデオ / VTRモード画面の場合)

手順 **1** ( A-25) で画面調整画面を表示する。

ノーマル／フル／ワイド／シネマの4つのタイプの中から、好きな表示画面のボタンをタッチする。

画面調整画面(例)



ノーマル	: 4 : 3 の映像の画面
フル	: 4 : 3 の映像を左右に引き伸ばし、16 : 9 にした画面
ワイド	: “フル” の違和感を少なくした画面
シネマ	: 4 : 3 の映像をそのまま拡大した画面



アドバイス

- シネマを選択した場合、映像を拡大して表示するため映像の上下が画面から切れて見えなくなることがあります。
- VTRモードで音声のみ入力している場合、ディスプレイ選択しても表示は確認できません。
- Digital TVモードの場合はフル固定となります。

5

設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。



アドバイス

- 画面右側の調整画面は約20秒間表示されます。
- 戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに値を変更した場合はその設定で確定(決定)されます。

画質調整を初期値に戻す

手順 **3**、**4** ( A-25、 A-26) で調整した画質(明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合い)を設定する前の値(初期値)に戻すことができます。

1

画質調整画面で **初期値** をタッチする。

: 設定した値が工場出荷時の値に戻ります。

画質調整画面(例)



音場の設定をする

※AV電源OFFの場合、音場の設定をすることはできません。

1

オーディオ画面で **MENU** を押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は **MENU** を2回押します。

※音場はLIVE／HALL／STADIUM／CHURCH／SRS CS Autoの5種類です。

2

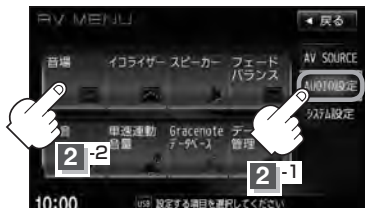
AUDIO設定 → **音場** をタッチする。

：音場設定画面が表示されます。



- 交通情報画面(「**ESP** C-10」)の場合、音場(臨場感)は得られません。(ボタンは選択できません。)
- AV MENU画面につきましては「**ESP** A-10」を参照ください。

AV MENU画面



3

お好みの音場(DSP／SRS CS Auto)を選択します。

■ DSPを使用する場合

再生する音楽に残響音を加え、いろいろな環境のサラウンドを擬似的に再現することができます。

ライブ

LIVE：音場をライブハウスに設定します。

ホール

HALL：音場をコンサートホールに設定します。

スタジアム

STADIUM：音場をスタジアムに設定します。

チャーチ

CHURCH：音場を残響音の多い教会に設定します。

① **DSP** * をタッチし、お好みの音場

(**LIVE** ／ **HALL** ／ **STADIUM** ／
CHURCH) をタッチする。

：選択した音場効果で再生されます。

音場設定画面(例)



DSPとSRS CS Autoの同時設定はできません。

* 印… **DSP** を選択した時点で **HALL** が設定されています。(初期状態)

■ SRS CS Autoを使用する場合



センタースピーカーやサブウーファーがなくても
4スピーカーのままで迫力の臨場感を再現することができます。

① **SRS CS Auto** をタッチする。

: SRSの音場効果で再生されます。

音場設定画面(例)



② 各項目(**FOCUS** / **TruBass** / **MixToRear**)と **+** / **-** をタッチして
音の高さ／低音の強さ／音の位置をお好
みの値に調整する。

SRS ^{フォーカス} FOCUS : 耳の高さから音が聞こえるように調整できます。

SRS ^{トゥルーバス} TruBass : 低音の強さをフロント・リアで個別に調整できます。
(サブウーファーがなくても重低音再生が可能です。)

SRS ^{ミックストゥリア} MixToRear: フロントの音をリアにふり分けることができます。
(後席でもセリフなどを聞きやすくなります。)

□ **FOCUS** を選択したとき

フロントまたはリアの音の高さを
+ / **-** タッチで調整します。
(0～8)

□ **TruBass** を選択したとき

フロントまたはリアの低音のレベルを
+ / **-** タッチで調整します。
(0～8)

□ **MixToRear** を選択したとき

リアスピーカーへのフロントスピーカーの
出力成分割合を **◀** / **▶** タッチで調整し
ます。(0～8)

音場の設定をする



アドバイス

- 2スピーカーでは音場効果は得られません。
- FOCUSを選択しても車種によっては耳の高さから聞こえない場合もあります。
- 表示されるイラストは音場を表すためのイメージ図です。

音場設定画面(例)



- 音場効果(臨場感)をやめたい場合は **OFF** をタッチしてください。

4

設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



アドバイス

SDモードTOP画面(例)



オーディオ画面では手順 **3** で選択した音場が表示されます。

- 手順 **3** (【**設定** A-29】) で SRS CS Auto を選択するとイコライザーの設定 (【**設定** A-31】) は自動的に **OFF** 選択となります。
- **SRS** は SRS Labs, Inc. の商標です。
- CS Auto 技術は SRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。

再生する音楽の音質を選択したり、イコライザーの微妙な音響調整をすることができます。
※ AV 電源 OFF の場合、イコライザーの設定をすることはできません。

1 オーディオ画面で **MENU** を押す。

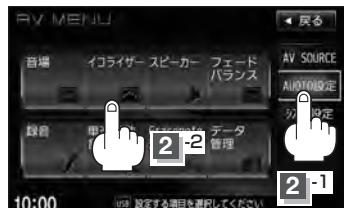
： AV MENU 画面が表示されます。

※ DVD モード時は **MENU** を 2 回押します。

AV MENU 画面

2 **AUDIO 設定** → **イコライザー** をタッチする。

： イコライザー画面が表示されます。



3 お好みの音質の選択または値を設定する。

■ お好みの音質を選択する場合

- ① 設定したい音質 (**POP** / **ROCK** / **JAZZ** / **USER1** / **USER2**) をタッチする。

： 音質が確定され、選択した音質で再生されます。

※さらにお好きな値に調整することもできます。

☞ A-32

イコライザー画面



アドバンス

POP / **ROCK** / **JAZZ** の値は本機に既存の値が設定されています。 **USER1** / **USER2** のイコライザーの値は OFF 状態 (±0) に設定されています。

※お好きな値に調整することもできます。☞ A-32

→次ページへ続く

イコライザー(音質)の設定をする

□ お好きな値に調整するとき

1. 値を調整する。

：イコライザーをタッチする方法と
▲／▼をタッチして調整する
方法の2種類があります。

▲：レベルアップ
▼：レベルダウン



イコライザー
※イコライザーの — の部分
が値(レベル)を表します。

2. 登録 をタッチする。

：調整した値で保存されます。

4

設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



アドバイス

- イコライザー画面で **OFF** をタッチすると音質効果なし(±0のフラット状態)となります。
- **登録** をタッチする前に音質を変更(**POP** / **ROCK** / **JAZZ** / **USER1** / **USER2** を選択)すると、設定した値は保存されずAV MENU画面に戻ります。
- イコライザー設定中はオーディオ画面のとき
EQ マークが表示されます。

各オーディオの音楽再生画面で **Sound** を
タッチするとイコライザー画面を表示させる
ことができます。

オーディオ画面(SDモード画面(例))



マーク表示

イコライザーの値を初期値に戻す

調整した値を設定する前の値(初期値)に戻すことができます。

- 1 イコライザー画面で初期化したい音質
(POP / ROCK / JAZZ / USER1 /
USER2)をタッチする。

- 2 初期化 をタッチする。

：設定した値が工場出荷時の値に戻ります。



スピーカーの設定をする

車種によってスピーカーの大きさが異なるため、下記の設定をすることにより SRS CS Auto 設定時 (図 A-28) の音のゆがみを抑制することができます。

スピーカーの大きさについて

位置／大きさ	LARGE	NORMAL
フロント	17cm以上	16cm以下
リア	17cm以上	16cm以下

※オーディオモード終了(OFF状態)の場合は、スピーカーの設定をすることはできません。

1 オーディオモード画面で **MENU** を押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は **MENU** を2回押します。

2 **AUDIO 設定** → **スピーカー** をタッチする。

：スピーカー設定画面が表示されます。

 AV MENU画面につきましては図 A-10を参照してください。

AV MENUのAUDIO設定画面(例)



3 上記表を参照して **LARGE** / **NORMAL** をタッチする。

スピーカー設定画面



選択した結果が反映される



アドハイス

17cm以上の場合はLARGE、16cm以下の場合はNORMALの設定をおすすめします。

※スピーカーの大きさは目安ですので設定する場合はSRS CS AutoをONにした状態で、低音を確認していただき、低音がよりよく聞こえる方のスピーカー(大きさ)を選択してください。

4

設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



アドハイス

戻る をタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに設定を変更した場合はその変更した設定で確定(決定)されます。

フェード・バランスの調整をする

前後左右のスピーカーの音量バランスや低音、高音の調整をすることができます。

フェード：前または後ろスピーカー音量調整 / バランス：左または右スピーカーの音量調整

※ AV 電源 OFF の場合、フェード・バランスの調整をすることはできません。

1

オーディオ画面で **MENU** を押す。

：AV MENU 画面が表示されます。

※ DVD モード時は **MENU** を 2 回押します。

2

AUDIO 設定 → **フェードバランス** をタッチする。

：フェード・バランス設定画面が表示されます。



AV MENU 画面につきましては **A-10** を参照ください。

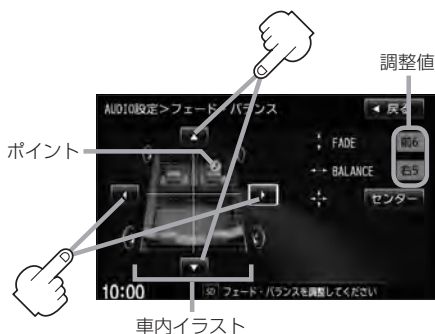


3

調整したい項目 (フェード / バランス)

の ◀ / ▶ / ▼ / ▲ をタッチする。

※ 車内イラストを直接タッチし、ポイント (値) を移動させて調整することもできます。



■ FADE (前 9 ~ 後 9) 調整の場合

- ▼ をタッチすると前スピーカーの音量が下がり、
- ▲ をタッチすると後ろスピーカーの音量が下がる。

■ BALANCE (左 9 ~ 右 9) 調整の場合

- ◀ をタッチすると右スピーカーの音量が下がり、
- ▶ をタッチすると左スピーカーの音量が下がる。

4

設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。



アドバイス

フェード・バランス設定画面(例)



- **センター** をタッチするとFADE／BALANCEの値が0になり、ポイントが中心線に戻ります。

- 調整時に ◀ / ▶ / ▼ / ▲ をタッチし続けると、連続的に変化します。
- 車内イラストは音の設定位置を表すイメージ図です。

「イコライザー(音質)の設定をする」A-31

車速連動音量を設定する

車の走行速度によって、オーディオの音量を自動で調整します。

1 オーディオ画面で **MENU** を押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は**MENU**を2回押します。

2 **AUDIO 設定** → **車速連動音量** をタッチする。

：車速連動音量設定画面が表示されます。



AV MENU画面につきましては「**A-10**」を参照ください。



3 設定したい連動音量(**HIGH** / **MIDDLE** / **LOW**)をタッチする。

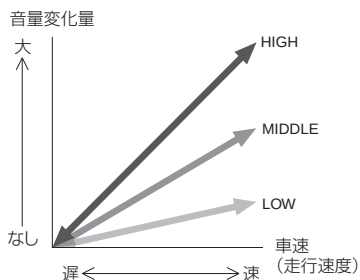
：車速(走行速度)に応じて音量変化は

- HIGH…大きい
 - MIDDLE…HIGHとLOWの間
 - LOW…小さい
- となります。



連動音量を設定しない場合は
OFF をタッチしてください。

4 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。



- 車速連動音量を設定することにより、加速に応じて自動的に音量を上げ、減速すると音量を下げ(小さく)します。
※高速走行中に発生するノイズによって聞こえにくくなるオーディオの音量を、自動で調整することができます。

- 戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。
すでに設定を変更した場合はその設定で確定(決定)されます。

録音設定／データ管理

Gracenoteデータベースの更新でローカルアップデートとカスタムアップデートの操作手順(専用アプリケーションの使用)につきましては弊社ホームページから提供しております。(注)

(注)操作方法につきましては、

<http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxh-128vf/>
をご参照してください。

また、ご使用の際はユーザー登録をお願い致します。

※ホームページのアドレスは都合により変更させていただく場合があります。

録音設定／データ管理について	B-2
再生可能メディアについて	B-3
CDの録音方法(自動／手動)を選択する	B-4
CDを録音する	B-6
録音方法／録音音質を選択し、録音を開始する	B-6
Music Rackの機能／構成について	B-8
Music Rackへ録音時の注意点について	B-9
Music Rackの使用容量を確認する	B-10
音楽データを修復する	B-11
音楽データを初期化する	B-12
ローカル／カスタムアップデートについて	B-13
タイトル情報更新の流れについて	B-13
ローカルアップデート／ カスタムアップデートをする	B-15
Gracenoteデータベースのデータを 初期化する	B-20

B章では、録音、データベースのアップデートなどデータ管理に関わる内容を説明しています。

- 音楽CDを本機(のMusic Rack)へ手動録音するための設定

🔗 B-4

- Music Rackの機能について

🔗 B-8

※ Music Rackの構成や音楽CDを本機(のMusic Rack)に録音(保存)するときの注意事項を記載しています。

※ 音楽CDのデータベースを内蔵しており、アルバム名、アーティスト名、ジャンル名などが自動的に付加され、整理をすることができます。

※ GracenoteデータベースとMCDBデータベースを使用しています。

- Gracenoteデータベースのアップデート方法

🔗 B-15



アドバース

- Music Rackの機能の特徴は下記ようになります。

できること	音楽CDの録音・再生
本機以外に必要なもの (別にご購入頂くなどご準備頂くもの)	音楽CD
その他機能	アルバム名、アーティスト名などを自動的に付加するので、 入力の手間を省けます。 新曲が出て、アルバム名、アーティスト名などのデータ ベースを更新できます。
データ保存場所	Music Rack (HDD)

本機で再生可能なファイル形式とメディアにつきましては以下を参照ください。

	ファイル形式	拡張子	CD-R／RW 	DVD-R／RW DVD+R／RW 	USBフラッシュメモリ* 	SDカード 
音楽 	MP3	.mp3	○	○	○	○
	WMA	.wma	○	○	○	○
	AAC	.m4a	×	×	○	○
画像 	JPEG	.jpg	×	×	○	○

録音設定
データ管理

- ※ファイル形式や拡張子が対応の場合でも、ファイルの作成方法などによっては再生できない場合があります。
- ※MP3／WMAファイルにつきましては「●音楽ファイルMP3/WMAの規格について」D-7を参照ください。
- ※AACファイルにつきましては「●AACの規格について」H-11／「●音楽ファイルの再生について」H-12を参照ください。
- ※JPEGファイルにつきましては「画像ファイル(JPEG)について」M-3を参照ください。

* 印…ウォークマン®につきましては「対応可能なウォークマン®」F-15を参照ください。

CDの録音方法(自動／手動)を選択する

音楽CDを本機に挿入したとき、再生される曲を本機(Music Rack)へ録音することができます。録音には自動録音と手動録音があります。

※本機の初期の録音方法は“自動録音”に設定されています。

1 オーディオ画面で **MENU** を押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は**MENU**を2回押します。

2 **AUDIO設定** → **録音** をタッチする。

：録音設定画面が表示されます。



アドバース

AV MENU画面につきましては「**A-10**」を参照ください。

AV MENU画面(例)



3 録音方法(**自動録音** ／ **手動録音**)を選択する。

■ **自動録音** をタッチした場合

：音楽CDを本機に挿入すると曲の再生と同時に本機に曲の録音を開始します。

「**(未録音CDについて)**」B-5

■ **手動録音** をタッチした場合

：CDモード画面で録音方法(全曲録音／選択曲録音)／録音音質(高音質モード／標準モード)を選択して**録音開始**をタッチすると録音を開始します。

「**録音方法／録音音質を選択し、録音を開始する**」B-6

録音設定画面



設定画面では音質の選択や録音可能時間、本機の残容量を確認できます。

「**録音音質選択B-7**」



アドバース

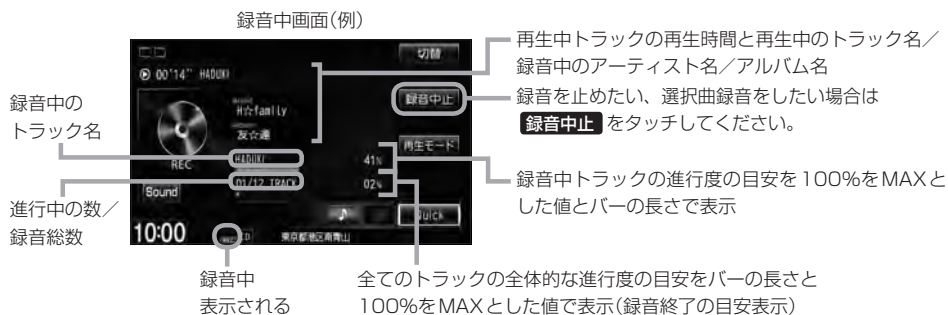
- すでに本機に録音済または1曲でも録音済のディスクを挿入した場合、自動録音は開始されません。(曲は再生されます。)未録音の曲を録音したい場合は、**●録音**をタッチして録音を開始させてください。

「**B-6**」

- 録音を開始する前に「**Music Rackへ録音時の注意点について**」B-9を必ずお読みください。

未録音CDについて

録音方法が自動録音に設定されている場合、未録音の音楽CDを挿入すると、同時に録音を開始します。



※自動録音と手動録音の設定のしかたは「CDの録音方法(自動／手動)を選択する」B-4を参照してください。手動録音の場合、録音音質の選択や録音したい曲をお好みに選択することができます。

「CDを録音する」B-6



アドバイス

- Music Rackに録音すれば車内がCDであふれることもなく、ディスクの交換の手間も省け便利です。Music Rackへ録音した曲は、再生選択や削除などの編集も可能です。

「アルバムリストの編集(曲管理)」E-14

- ※ Music Rackにつきましては「Music Rackの機能／構成について」B-8／「各部の名称とはたらき」E-2を参照ください。

※音楽CD以外(MP3／WMAなど)は録音(REC)できません。

- 未録音CDが本機に挿入された状態で他のオーディオモードからCDモードにした場合や、CDモードでOFF→ONにした場合は再度録音が始まります。(自動録音設定時)
- 自動録音／手動録音は変更することができます。B-4
- 録音する曲を選択したり、録音音質を変更することができます。

「CDを録音する」B-6

4

設定を終えるには、**戻る** をタッチする。

：設定が確定(決定)されます。

※ **戻る** をタッチすると1つ前の画面に、**AUDIO** を押すと選択中モード画面に戻ります。

録音方法／録音音質を選択し、録音を開始する

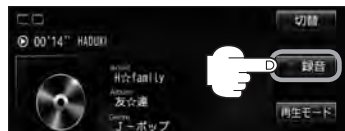
全曲録音するか、お好みの曲を録音するかの設定と、音質の設定することができます。

※未録音 CD を挿入した場合は録音が始まります。(自動録音設定時)  D-4

1 CDモード時、**●録音** をタッチする。

：録音開始画面が表示されます。

CDモード画面(手動録音設定時)



2 録音方法を選択する。

■ 全曲録音する場合

① **全曲録音** をタッチする。

：CD内にある全ての曲の録音となります。ただし本機の容量が足りない場合 **全曲録音** は選択できません。すでに1曲でも録音済みのディスクの場合は、未録音の曲を全て録音します。

※録音順はアルバムに収録されている通りとなります。

録音開始画面



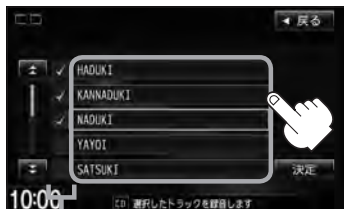
■ 選択曲録音をする場合

① **選択曲録音** をタッチする。

：録音曲選択画面が表示されます。

② 録音したいトラックをタッチする。

録音曲選択画面



トラックをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

☑：このトラックを録音します。

☐：このトラックは録音しません。

※すでに録音済みのトラックは選択できません。

(✓表示有／トラックは灰色表示)

③ **決定** をタッチする。

録音曲選択画面



：録音したいトラックが確定(決定)され、録音開始画面に戻ります。

※ **戻る** をタッチした場合は選択は解除(無効)となり録音開始画面に戻ります。



アドバイス

- 本機に録音される順番はアルバム(CD)に収録されている通りとなります。
- タイトル情報が収録されていない場合、リスト表示は“トラックxx”と表示されます。
※xxにはトラック番号の数字が入ります。

3 録音音質を選択する。

■ 高音質で録音する場合

① 高音質モード をタッチする。

：音の質は良くなりますがデータ容量が大きくなります。
※標準モードに比べて録音できる曲数が少なくなります。

■ 標準で録音する場合

① 標準モード をタッチする。

：音の質は下がりますがデータ容量が小さくなります。
※高音質モードに比べて録音できる曲数が多くなります。



録音設定
データ管理

4 録音開始 をタッチする。

：アーティスト名／トラック名と録音状態を示す情報を表示し、全曲または録音曲選択画面(▶ B-6)で選択した曲の1曲目から順に再生しながら録音します。

総演奏時間が確認できます。



本機への録音可能時間が確認できます。

録画中画面(例)



録音を止めたい場合は **録音中止** をタッチしてください。



アドバンス

- 録音中に **録音中止** をタッチすると録音を中止できます。
※録音を中止してもすでに本機に録音したトラックは本機に保存されます。
- 全曲の録音が完了すると、録音完了時に再生していた曲を継続再生します。
- 録音(REC)をしながら他のモードにすることができます。
現在地 を押す。：ナビゲーション画面を表示します。
AUDIO を押す。： **FM** / **AM** / **Music Rack** / **USB** / **iPod** / **SD** / **Digital TV** / **VTR** をタッチしてそれぞれのモードにすることができます。

※録音(REC)が終了すると画面に終了を知らせるメッセージが約3秒間表示されます。

- 本機への録音可能時間の情報を知ることができます。
▶ 「Music Rackの使用容量を確認する」B-10
- CDモードでリピート／ランダム／スキャン再生を設定している場合に録音(REC)を行なうと、設定は解除されます。

本機には主に下記に示すようなMusic Rack機能があります。

- 録音時にタイトル情報を自動付加(Gracenote データベース約 30 万タイトル収録済)
- アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコートなどの選曲モード( E-7) の各ボタンに自動でふり分け
 - ※ミュージックエスコートはMCDBデータベースを使い、曲調を自動的に判別してふりわけの機能です。
 - ※収録された音楽CDがGracenote データベースおよびMCDB 検索でタイトル情報が取得されている場合に限りです。
- 録音済みの音楽をお好みの曲だけ集めた“お気に入りリスト”作成可能
- 設定により自動録音／手動録音の選択が可能



アドハイス

- 選曲モードの各モードへのふり分けは収録しているデータベースに合致した場合には行なわれ、自動ふり分けがされない場合もあります。

- 録音可能曲数と容量は以下のとおりとなります。

録音可能曲数*	約 3,500 曲
最大容量	14GB

※*印・・・録音音質は高音質モードで 1 曲を 4 分で換算した場合

(録音音質を標準モードで 1 曲 4 分で換算した場合は約 4000 曲となります。)

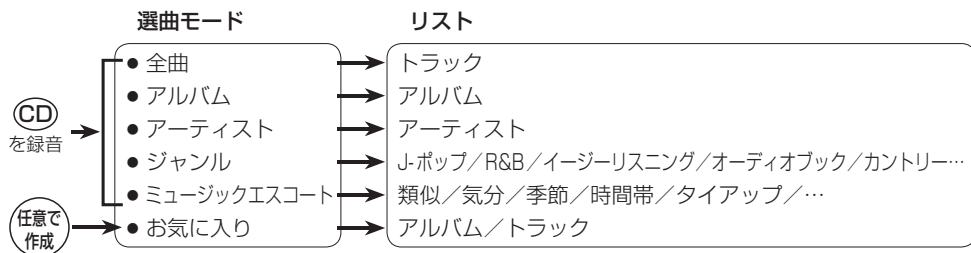
※最大曲数または最大容量に達すると録音はできなくなります。

- Music Rack(HDD)には 4 つのアルバムと 4 つのトラックのお気に入りフォルダを作成することができ、1 つのアルバムフォルダに 200 アルバム、1 つのトラックフォルダに 200 曲の登録が可能です。
- Gracenote データベースにつきましては  「データベースについて」M-6、「ローカルアップデート／カスタムアップデートをする」B-15 を参照ください。

Music Rackの構成について

本機に録音された音楽CDは自動で4種類(アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート)の選曲モードの各ボタンにふり分けられます。さらにお気に入りボタンにはお好みの音楽だけを集めたアルバムリストやトラックリストを作成することができます。各選曲モードの再生リストから絞り込んで検索することができるため便利です。

※収録された音楽CDがGracenote データベースおよびMCDB 検索でタイトル情報が取得されている場合に限りです。



- 本機の故障、誤動作または不具合により本機に記録できなかったデータ(録音内容など)、消失したデータ、本機内の保存データについては補償できません。
- 録音中に車のエンジンスイッチを変更したり、本機に振動や衝撃を加えると録音したデータの消失・故障の原因となる恐れがあります。

- 本機のMusic Rackへの録音は音楽CDのみです。MP3／WMA ファイル、DVD、ラジオ、テレビ、SD カード、USB 機器などから録音することはできません。
- 録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 車のエンジンスイッチをO(ロック)または、オーディオをOFF 状態にしても前回設定した自動／手動の選択(☞ B-4)、録音音質(☞ B-7)は保持されます。
- 車のエンジンスイッチを「I (アクセサリ)」の状態で録音しているときに、「II (ON)」にしてエンジンをスタート(始動)すると、録音したデータが消失する恐れがあります。また、その他のデータが壊れたり、本機が故障する恐れがあります。
- ノンストップCD(曲と曲の間の無音部分が無いCD)を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがあります。録音するCDに依存しますのでご了承下さい。
- 録音の開始時や、終了時には、約2秒間音楽や音声が停止することがあります。
・ 録音が終了すると終了を知らせるメッセージが約3秒間表示されます。
- 録音中、モードを切り替えても、録音は継続されます。また、オーディオをOFF 状態にしても録音は継続されます。
- 本機で録音したCDは、重複して録音することはできません。
- 自動録音に設定した場合、すでに本機に録音済または1曲でも録音済のディスクを挿入した場合は自動録音は開始されません。(曲は再生されます。)未録音の曲を録音したい場合は録音方法を選択して録音を開始させてください。

☞ 「録音方法／録音音質を選択し、録音を開始する」 B-6

- 録音途中に録音を停止する場合は次曲を3秒ほど再生してください。
※ 音楽の終了と同時に録音を終了した場合は、正常に録音できていない場合があります。
- Music Rack(HDD)の録音可能時間がCDの演奏時間より短い場合は録音されません。
- Music Rack(HDD)の使用状況を確認するには☞ 「Music Rackの使用容量を確認する」B-10を参照ください。
- 音楽CDの記録面の傷、汚れなどの状況や録音(記録)内容によっては、録音に時間がかかったり、再生音が飛んだりすることがあります。また、コピーコントロールCDにつきましては正常に録音、再生できない場合があります。
- 録音中の再生音はMusic Rackに録音された音のため、CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
- 録音が終了したとき、最後に再生していたトラックの再生が終わるまで早送り／早戻し／再生モードの変更はできません。
- 録音を行なうと、録音前に設定されていた再生モードは解除されます。
- 次の場合、録音中のトラック(曲)を削除します。
・ 録音中に車のエンジンスイッチを変更した場合 ・ 録音中にCDを取り出した場合

Music Rack の使用容量を確認する

本機の Music Rack 内の使用状況を確認することができます。

1 オーディオ画面で **MENU** を押す。

： AV MENU 画面が表示されます。

※ DVD モード時は **MENU** を 2 回押します。

2 **AUDIO 設定** → **データ管理** をタッチする。

： データ管理画面が表示されます。



アドバンス

AV MENU 画面につきましては **ア A-10** を参照ください。

AV MENU 画面 (例)



データ管理画面



3 **Music Rack 情報** をタッチする。

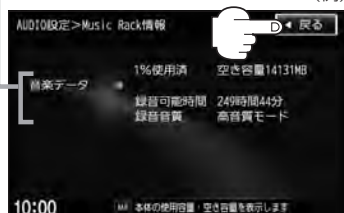
： 本機の Music Rack の使用状況が表示されます。

4 使用状況を確認したら、**戻る** をタッチまたは **AUDIO** を押す。

： **戻る** をタッチすると 1 つ前の画面に戻り、**AUDIO** を押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

音楽データの使用情報

(例)



本機に録音(REC)した音楽データが見当たらないなどのときに操作するとデータを修復できる場合があります。

1 オーディオ画面で **MENU** を押す。

： AV MENU画面が表示されます。

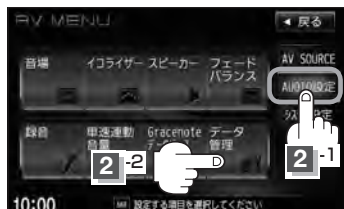
※ DVDモード時は **MENU** を2回押します。

録音設定
データ管理

2 **AUDIO設定** → **データ管理** をタッチする。

： データ管理画面が表示されます。

AV MENU画面(例)



アドバンス

AV MENU画面につきましては「**A-10**」を参照ください。

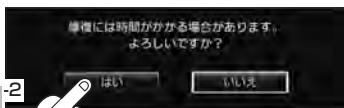
3 **音楽データ修復** をタッチする。

： 画面に表示されるメッセージを確認し、**はい** をタッチすると修復作業が開始されます。

※ 修復作業は曲数が増加するにわたって長くなります。

※ Music Rack / USB / SD 機器再生中の場合、修復作業中再生は停止されます。

データ管理画面



4 設定を終えるには、**戻る** をタッチまたは **AUDIO** を押す。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**AUDIO** を押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

音楽データを初期化する

本機の Music Rack (HDD) に録音 (REC) した音楽データを初期化することができます。

1 オーディオ画面で **MENU** を押す。

： AV MENU 画面が表示されます。

※ DVD モード時は **MENU** を 2 回押します。

2 **AUDIO 設定** → **データ管理** をタッチする。

： データ管理画面が表示されます。

AV MENU 画面 (例)



AV MENU 画面につきましては **ア** A-10 を参照ください。

3 **音楽データ初期化** をタッチする。

： 今まで録音した音楽データが消えてもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** を画面にしたがって選択します。

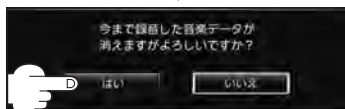
※ 本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合は必ず音楽データの初期化を行なってください。

※ Music Rack / USB / SD 機器再生中の場合、初期化中再生は停止されます。

データ管理画面



3-2



4 設定を終えるには、**戻る** をタッチまたは **AUDIO** を押す。

： **戻る** をタッチすると 1 つ前の画面に戻り、**AUDIO** を押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。



お願い

- 初期化中は他の操作 (モードを切り替えたり車のエンジンスイッチを変更) をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化で “はい” を選択すると、お客様の音楽データは消去され、二度と復帰しません。

本機にはあらかじめ商用CDタイトルの約95%のアルバム情報を取得成功できるデータベースが収録されており、CD再生時のタイトル情報表示や、CD録音時に自動でアーティスト名・タイトル名などを付けることができますので、入力の手間をはぶくことができます。

※全てのタイトル名の取得および正確性を保証するものではありません。

データベースにタイトル情報がない場合は誤ったタイトルを表示する場合があります。

※収録されているGracenoteデータベースは、2010年12月時点のデータです。

また、MCDBデータベースを利用することによりCD録音した曲のミュージックエスコート(曲調にあわせた再生リストへのふり分け)が可能となりました。

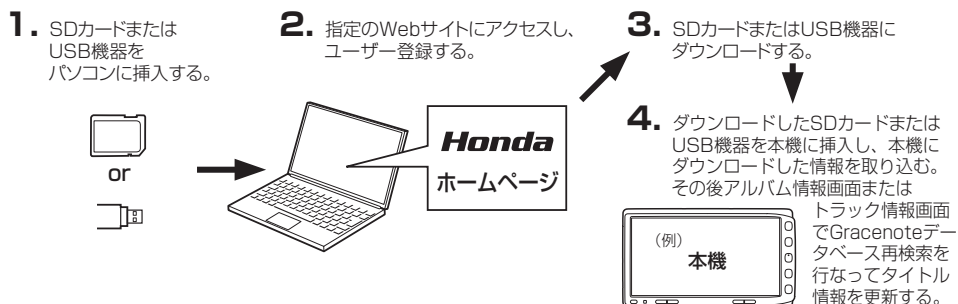
録音設定
データ管理

タイトル情報更新の流れについて

本機に収録されているGracenoteデータベースはアップデートすることができます。アップデートする方法はローカルアップデート(定期更新)とカスタムアップデート(個別更新)があります。

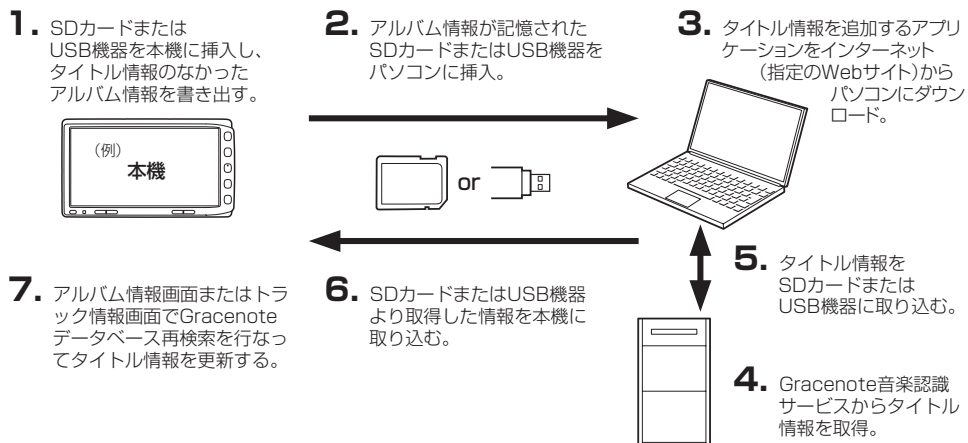
■ ローカルアップデート(定期更新)の場合

HondaのWebサイトに年に数回、定期的にアップデートされるデータを使って、本機に収録されているGracenoteデータベースを最新の情報に更新することができます。



■ カスタムアップデート(個別更新)の場合

本機のGracenoteデータベースにヒットしない新譜などのアルバムや、異なったタイトル情報が検索されたアルバムの情報をGracenote音楽認識サービスより個別に取得できます。





アドバイス

- ローカルアップデート(定期更新)のデータ更新により本機のデータベースを最新の状態にすることができます。
 - ローカルアップデート(定期更新)はローカルアップデート専用アプリケーションを使用してダウンロードしたデータをSDカード／USB機器に書き込むことができます。
 - カスタムアップデート(個別更新)は間違ったタイトル情報が表示されたときに正しいタイトル情報を取得する際にも使用できます。
 - カスタムアップデート(個別更新)はカスタムアップデート専用アプリケーションを使用して、本機から書き出したデータの検索ができます。
 - Gracenoteデータベースよりタイトル情報を入手するにはSDカード8MB以上の空き容量、パソコン100MB以上の空き容量、インターネット接続環境(64kbps以上推奨)、カードリーダーライターなどインストールするにあたり動作環境を整えていただく必要があります。
 - Gracenoteデータベースの更新でローカルアップデートとカスタムアップデートの操作手順(操作方法)につきましては指定Webサイトにアクセスし、ユーザー登録をお願い致します。^(注)
ローカルアップデート(定期更新)専用アプリケーション、カスタムアップデート(個別更新)専用アプリケーションは指定のWebサイトから入手できます。
- (注)：指定のWebサイト<http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxh-128vf/>
※ユーザー登録やアップデートの操作方法などは上記Webサイトよりご確認ください。

MCDBについて

MCDBは株式会社メディアクリックの登録商標です。

MCDBデータベースはメディアクリックのノウハウにより構成されているデータベースです。MCDBは、メディアクリックが独自に楽曲を選別したもので、楽曲の作曲家・作詞者等により作成・保証されたデータベースではありません。

- MCDBサービスは、ユーザーの趣味・趣向を100%保証するものではありません。
- MCDBサービスは、個人の使用のみに使うことを許可します。
- MCDBサービスを、商用として利用することは、いかなる場合でも禁止します。
- 本製品に格納されたMCDBデータベースは、第三者に譲渡・コピー・転送することを禁止します。
- お客様が、上記同意事項に違反した場合には、弊社は、MCDBサービスの利用を終了させていただきます。
- MCDBの著作権は、株式会社メディアクリックが有しており、著作権法、関連諸法規、関連国際条約などで保護されています。

※収録されているMCDBは、2010年12月時点のデータです。

Gracenote データベース検索を利用して本機に収録されていない(アーティスト名・タイトル名などの)情報をアップデートすることができます。

1

オーディオ画面で **MENU** を押す。

： AV MENU 画面が表示されます。

※ DVD モード時は **MENU** を 2 回押します。

録音設定
データ管理

2

AUDIO 設定 → **Gracenote データベース *** をタッチする。

： Gracenote データベース画面が表示されます。

※ 印…走行中／録音中は選択できません。



AV MENU 画面につきましては **A-10** を参照ください。

AV MENU 画面(例)



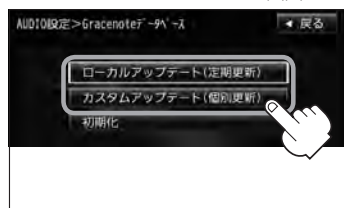
3

アップデートの方法

(**ローカルアップデート(定期更新)** ／ **カスタムアップデート(個別更新)**) を選択する。

※ Music Rack／SD／USB 機器再生中はメッセージが表示されるので **はい** をタッチして再生を停止させる必要があります。

Gracenote データベース画面



■ **ローカルアップデート(定期更新)** をタッチした場合



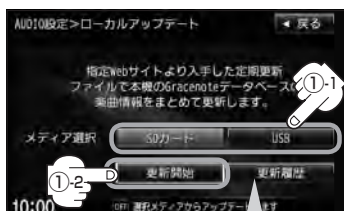
ローカルアップデート(定期更新)する前に…

1. ローカルアップデート用専用アプリケーションをパソコンにダウンロードする
 2. データベースファイルをパソコンにダウンロードする
 3. ローカルアップデート専用アプリケーションを使用して半角で NVDATA フォルダを作成する
 4. パソコンにダウンロードしたデータベースファイルを NVDATA フォルダに移動させ、SD カードまたは USB 機器に取り込む
 5. SD カードまたは USB 機器を本機に挿入／接続する
- ※ ローカルアップデートは情報の取り込みのみを行ないます。

ローカルアップデート／カスタムアップデートをする

① メディア(**SDカード** / **USB**)を選択し、**更新開始** をタッチする。

：更新してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチすると、選択した方法で本機に情報を取り込みます。

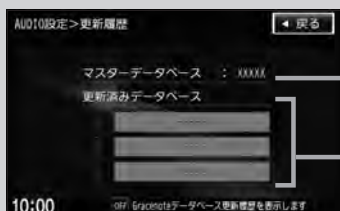


⚠ 注意

更新中は他の操作(モード切替／車のエンジンスイッチ変更／電源を切る／CD・SDカード・USB機器を抜くなど)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。

更新履歴 をタッチすると、SDカードまたはUSB機器からアップデートしたGracenoteデータベースのバージョンを確認することができます。

バージョン更新履歴確認画面



工場出荷時のバージョンを表示

お客様が追加されたデータベースのバージョンを表示

Gracenote データベース検索でここに表示されていないバージョンをアップデートしてください。確認画面に表示できるデータベースのバージョン情報は200個です。それ以上はバージョン情報の古い順に上書き表示されます。



アドバイス

最新のアップデートファイルを更新しても、すべてのデータベースが更新されるわけではありません。アップデートを行なった期間のアップデートファイルをすべてダウンロードし、アップデートを行なってください。

② 取り込み(更新)完了を知らせるメッセージが表示されるので内容を確認し、**OK** を画面にしたがってタッチする。



本機に取り込んだ情報を反映するには、アルバム編集画面またはトラック編集画面で **データベース再検索** をタッチしてタイトル情報を更新してください。

※アルバム、トラックどちらの編集画面でもタイトル情報を更新できます。

【**E-14**手順 **1** ~ **3** で **アルバム編集** をタッチ、または **E-23**手順 **1**、**2** で **トラック編集** をタッチし、**E-18**、**E-25** ■「データベースから再検索する場合」参照

ローカルアップデート／カスタムアップデートをする

■ カスタムアップデート(個別更新) をタッチした場合

※SDカード／USB 機器を本機に挿入／接続(準備)しておく必要があります。

☞ 「SDカードを入れる／取り出す」 A-7

☞ 「USB機器を本機に接続する」 F-16

録音設定
データ管理

データの書き出しをする

新規アルバム表示または、間違ったタイトル表示のときにデータの書き出しを行ないます。

□ 新規アルバム(No title表示)のとき

※新規タイトルxxと表示されるアルバムは、自動でアルバム情報の保存を行ないます。

1. B-18の手順①へ進んでください。

□ 間違ったタイトルを表示(ミスヒット)しているとき

■ データベースに複数のタイトル情報がある場合

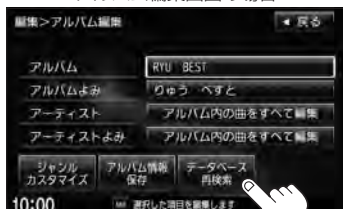
1. Music Rack モードでデータベース再検索をする。

☞ E-14 手順 ① ～ ③ で **アルバム編集** をタッチ
または、E-23 手順 ①、② で

トラック編集 をタッチし、

「■ データベースから再検索する場合」 E-18、E-25 を
参照し **データベース再検索** をタッチする。

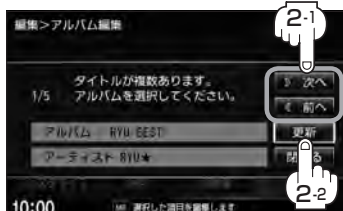
アルバム編集画面の場合



2. 表示させたいアルバム名を

次へ／**前へ** をタッチして検索し、
希望のアルバム名が見つかった場合は
更新 をタッチする。

：タイトル情報が更新されます。



3. B-19の手順 ④ へ進んでください。

※手順2のとき希望のアルバム名がなかった場合は

☞ 「■ データベースにタイトル情報がない場合」 B-18へ進んでください。

ローカルアップデート／カスタムアップデートをする

■ データベースにタイトル情報がない場合

※ Music Rack 再生中は、
再生を停止する必要があります。

1. Music Rack モードで **編集** → **曲管理** をタッチする。

: 曲管理画面が表示されます。

2. 間違った情報のアルバムをタッチし、
アルバム編集 をタッチする。

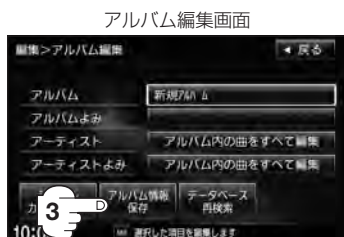
: アルバム編集画面が表示されます。

3. **アルバム情報保存** をタッチする。

: 間違ったアルバム情報を一旦本機に保存します。

4. B-15の手順 **1**、**2** にしたがって操作し、
手順 **3** のとき **カスタムアップデート(個別更新)**
をタッチする。

5. 下記手順①へ進んでください。

① **SDカード**／**USB** → **書き出し** をタッチする。

: 書き出しをしてもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチするとSDカード／USB機器にタイトル情報のなかったアルバム情報を書き出します。

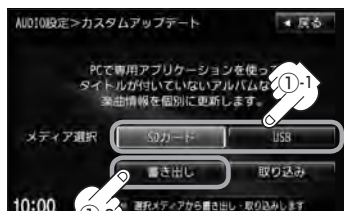
② 書き出し完了を知らせるメッセージが表示されるので、内容を確認し、**OK** をタッチする。

③ 本機よりSDカード／USB機器を取り、パソコンに挿入／接続する。

④ パソコンからGracenote音楽認識サービスに接続し、タイトル情報を取得する。

⑤ 取得した情報をSDカード／USB機器に取り込む。

⑥ SDカード／USB機器をパソコンより外し、本機に挿入／接続する。



データの取り込みをする

※カスタムアップデート画面を表示している場合は下記手順⑦へ進んでください。

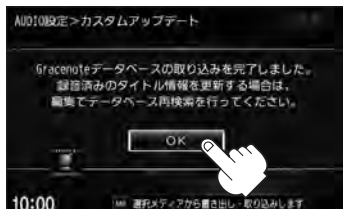
表示していない場合はB-15の手順 **1**、**2** にしたがって操作し、
手順 **3** のとき **カスタムアップデート(個別更新)** をタッチする。

⑦ **SDカード**／**USB** → **取り込み** をタッチする。



：取り込んでもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチするとSDカード／USB機器より取得した情報を本機に取り込みます。

⑧ 取り込み完了を知らせるメッセージが表示されるので内容を確認し、
OK をタッチする。

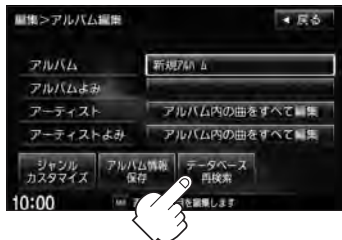


本機に取り込んだ情報を反映するには、アルバム編集画面またはトラック編集画面で **データベース再検索** をタッチしてタイトル情報を更新してください。

※アルバム、トラックどちらの編集画面でもタイトル情報を更新できます。

☞ E-14 手順 **1** ～ **3** で **アルバム編集** をタッチまたは、
E-23 手順 **1**、**2** で **トラック編集** をタッチし、
E-18、E-25 の「**データベースから再検索する場合**」参照

アルバム編集画面の場合



アドバンス

☞ 「**タイトル情報更新の流れについて**」B-13 もご参照ください。

4

設定を終えるには、**戻る** をタッチまたは **AUDIO** を押す。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**AUDIO** を押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

Gracenote データベースのデータを初期化する

Gracenote データベースのデータを初期化することができます。

1 オーディオ画面で **MENU** を押す。

： AV MENU 画面が表示されます。

※ DVD モード時は **MENU** を 2 回押します。

2 **AUDIO 設定** → **Gracenote データベース *** をタッチする。

： Gracenote データベース画面が表示されます。

* 印…走行中／録音中は選択できません。



AV MENU 画面につきましては **図 A-10** を参照ください。

AV MENU 画面 (例)



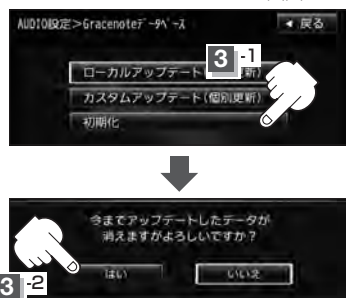
3 **初期化** をタッチする。

※ Music Rack／SD／USB 機器再生中はメッセージが表示されるので **はい** をタッチして再生を停止させる必要があります。

：今までアップデートしたデータを消してもいいかどうかのメッセージが表示されるので、**はい** を画面にしたがってタッチするとデータを消去し、Gracenote データベース画面に戻ります。

※本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合は必ずデータの初期化を行ってください。

Gracenote データベース画面



4 設定を終えるには、**戻る** をタッチまたは **AUDIO** を押す。

： **戻る** をタッチすると 1 つ前の画面に戻り、**AUDIO** を押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。



お願い

- 初期化中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチを変更)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化で“はい”を選択すると、お客様の今までアップデートしたデータ(ローカルアップデート(定期更新)／カスタムアップデート(個別更新))は消去され、二度と復帰しません。

C

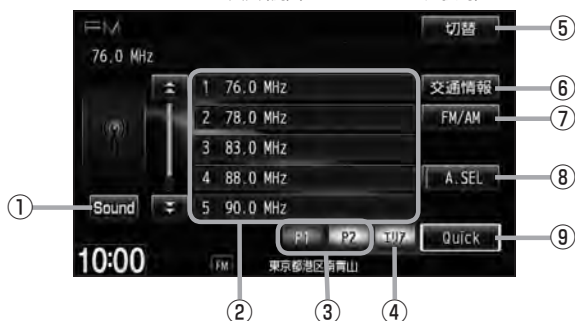
FM / AM を聞く

FM
/
AM

各部の名称とはたらき	C-2
タッチパネル部について	C-2
表示部について	C-3
FM / AM 放送を切り替える	C-4
選局する	C-4
プリセット(メモリー)する	C-8
交通情報を受信する	C-10
道路交通情報を聞く	C-10
道路交通情報の受信を止める	C-11

タッチパネル部について

FMモード TOP画面(例) (P1 / P2 ボタン選択時)



FMモード TOP画面(例) (エリアボタン選択時)

① **Sound** ボタン

イコライザー画面を表示します。[図] A-31

② **プリセット** ボタン(1～6)

1.5秒以上タッチで好きな放送局をメモリーします。
[図] C-8(エリアボタン選択時は除く)

※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(1.5秒未満)タッチします。

③ **P1 / P2** ボタン

ユーザープリセットした放送局を表示します。
[図] C-5

④ **エリア** ボタン

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を
エリア表示 (1～12)に表示します。[図] C-6

⑤ **切替** ボタン

時計のみ表示させてラジオを聞くことができます。
[図] A-12

⑥ **交通情報** ボタン

道路交通情報を受信します。[図] C-10

⑦ **FM / AM** ボタン

FM / AM放送を切り替えます。[図] C-4

⑧ **A.SEL** ボタン

1秒以上タッチでオートセレクトを開始します。
(表示灯点灯) [図] C-7
※セレクトされた放送局はボタンに表示されます。
短タッチでオートセレクト画面とユーザプリセット / エリア画面の切り替えとなります。[図] C-5

⑨ **Quick** ボタン

カスタマイズメニューを使用することができます。
[図] M-2

⑩ **エリア更新** ボタン

エリア タッチで表示させた放送局を最新の情報(放送局)で表示します。[図] C-6

⑪ **エリア表示** ボタン(1～12)

エリア タッチでエリアが **エリア表示** (1～12)に表示されます。[図] C-6

※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(1.5秒未満)タッチします。



アドバイス

- 放送局名は、現在の車の位置周辺の放送局名を表示しますが、全ての放送局の名称が表示されるわけではありません。
- パネル部に配置されているボタンにつきましては  A-2 を参照ください。

表示部について

FM
AM

① FM / AM 表示

選択中のバンド (FM 放送 / AM 放送) を表示します。

 C-4

② 周波数表示

③ 放送局名表示

④ 音場表示

選択中の音場を表示します。

 A-28

※ イコライザー設定中はオーディオ画面のとき

 マークが表示されます。

 A-31

⑤ ステレオ放送表示

ステレオ放送受信時のみ表示されます。

 C-4

1

FM / AM をタッチする。

: タッチするたびにAM放送↔FM放送を切り替えます。

FM ↔ AM が
切り替わる



選局する

手動選局／自動選局／プリセット選局／エリア／オートセレクト選局があります。

1

選局する。

■ 手動選局で放送局を選ぶ場合

① (選局)を押す。

: ボタンを押すたびに、FMは0.1MHz、
AMは9kHz ずつ変わります。



■ 自動選局で放送局を選ぶ場合

① (選局)を 1 秒以上押す。

: 自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。
希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。

※自動選局中に (選局)を押すと、自動選局は止まります。



アドバイス

- 自動選局中は表示部に“サーチ中…”と表示されます。
- FMステレオ放送を受信すると **STEREO** が表示されます。(AMステレオ放送はありません。)
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

■ P1 / P2(ユーザープリセット選局)で放送局を選ぶ場合

プリセット (1～6)にメモリーした放送局を呼び出すことができます。

※あらかじめ **プリセット** (1～6)に放送局をメモリーしておく必要があります。

「**プリセット(メモリー)する**」C-8

① **P1** または **P2** をタッチする。

：選択中モード(FM／AM)のプリセット表示と
なります。

② 呼び出したい **プリセット** (1～6)をタッチする。

：選択したラジオ放送を受信します。

FMモード TOP画面(例)



FM
AM



アドバイス

FM／AMモード TOP画面は選択する **P1** / **P2**、**A.SEL**、**エリア** によってプリセット表示または
エリア表示となります。

FMモード TOP画面(例)

ユーザープリセット画面(**P1** / **P2** 選択時)



エリア

タッチすると

P1 / **P2**
タッチすると

FMモード TOP画面(例)

エリア表示画面(**エリア** 選択時)



A.SEL

タッチして表示灯を
点灯すると

A.SEL

タッチして表示灯を
点灯すると

FMモード TOP画面(例)

オートセレクト画面(**A.SEL** 選択時)



A.SEL

タッチして表示灯を
消灯すると

A.SEL

タッチして表示灯を
消灯すると

■ エリア選局で放送局を選ぶ場合

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を呼び出すことができます。

① **エリア** をタッチする。

FMモード TOP 画面(例)



：現在地周辺のエリアで放送されている放送局が **エリア表示** (1～12) に表示されます。

② **エリア表示** (1～12) の中で聞きたい放送局をタッチする。

エリア表示 ボタン
(1～12)

※地域によって放送局の数(ボタンの数)は変わります。



：選択したラジオ放送を受信します。



アドバイス

- 表示された放送局が必ず受信されるわけではありません。
- 地域によって放送局の数異なりますので、全ての **エリア表示** に表示されるとは限りません。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、重複した放送局が表示されることがあります。
- エリア表示のまま放置(走行)していた場合に **エリア更新** をタッチするとエリアが更新され、現在地周辺の最新エリアの放送局が表示されます。
- TOP画面は選択するボタン(**エリア** または **P1** / **P2** / **A.SEL**)によってエリア表示またはプリセット表示となります。【P】C-5アドバイス参照

■ オートセレクト選局で放送局を選ぶ場合

オートセレクト(自動でFM／AM各12局までメモリー)した放送局を **プリセット** (1～12)に表示し、呼び出すことができます。

※あらかじめオートセレクトをしておく必要があります。

「**プリセット**」**■ オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合**」C-9

① **A.SEL** をタッチする。

FMモード TOP画面(例)
ユーザープリセット画面表示時(*)



：オートセレクトでメモリーした
放送局を **プリセット** に表示します。

② **プリセット** (1～12)の中で 聞きたい放送局をタッチする。



：選択したラジオ
放送を受信します。

オートセレクト機能が働
いているとき表示灯点灯

□ オートセレクト画面のときユーザープリセット／エリア画面に戻るとき

① **A.SEL** をタッチする。

オートセレクト画面



：表示灯が消灯し、ユーザープリセットまたはエリア
画面に戻ります。

※ **A.SEL** をタッチするたびにオートセレクト↔
ユーザープリセット／エリア画面と切り替わります。

表示灯



アドバイス

● **A.SEL** を1秒以上タッチした場合はオートセレクトサーチの開始となります。[**プリセット**] C-9

● 表示された放送局がかならず受信されるわけではありません。

* 印…FMモードのTOP画面は選択するボタン(**エリア** または **P1** または **P2**、 **A.SEL**)によって異なります。[**プリセット**] C-5アドバイス参照

プリセット(メモリー)する

プリセットボタンにメモリーする方法としてユーザープリセット(手動メモリー)とオートセレクトプリセット(自動メモリー)があります。

1

プリセットを選ぶ。

☞ 「FM / AM放送を切り替える」C-4、

「■ P1 / P2(ユーザープリセット選局)で放送局を選ぶ場合」C-5

：ユーザープリセット1またはユーザープリセット2画面が表示されます。

2

プリセットする方法を選択する。

(ユーザープリセット / オートセレクトプリセット)

■ ユーザープリセット(手動メモリー)をする場合

メモリーしたい局を選び、**プリセット** (1～6)にメモリーします。

- ① **◀▶** (選局)を押して、
メモリーしたい局を選ぶ。

☞ 「■ 手動選局で放送局を選ぶ場合」 /

■ 自動選局で放送局を選ぶ場合」

C-4

ユーザープリセット画面(例)



① **◀▶** ボタン(選局)

- ② **プリセット** (1～6)のうち、メモリーしたいボタンを1秒以上(プリセットボタンの表示がメモリーしたい局の表示に変わるまで)タッチする。



プリセット ボタン(1～6)



アドバイス

- ユーザープリセットには、FM・AMの各モードで6局ずつ、**P1** / **P2** に計24局メモリーすることができます。
- すでにプリセットされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。
- メモリーした放送局を呼び出すには、**P1** または **P2** をタッチし、呼び出したい **プリセット** (1～6) を軽く(1秒未満)タッチします。

☞ 「■ P1 / P2(ユーザープリセット選局)で放送局を選ぶ場合」C-5

■ オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合

現在の車の位置で受信できる放送局を自動で **プリセット** にメモリーします。

- ① **A.SEL** を1秒以上タッチする。

ユーザープリセット画面(例)



： **A.SEL** の表示灯点灯し、受信した放送局を **プリセット** にメモリー(表示)します。

ユーザープリセット画面(例)



プリセット ボタン

オートセレクト機能が働いているとき表示灯点灯



アドバイス

- オートセレクトには、FM・AMの各モードで12局ずつ、計24局メモリーすることができます。
- メモリーした放送局を呼び出すには、呼び出したい **プリセット** を軽く(1秒未満)タッチします。
「 ■ オートセレクト選局で放送局を選ぶ場合」C-7
- 1局も放送局をメモリーできなかった場合、表示部に“受信できません”と表示し、メモリーする前の放送局に戻ります。
- オートセレクト画面からユーザープリセット画面に戻すには、 **A.SEL** をタッチし、表示灯を消灯させてください。

C-10 交通情報を受信する

道路交通情報を聞く

AMラジオ局の道路交通情報を受信することができます。

1

交通情報 をタッチする。

：交通情報画面が表示され、AMラジオ局の
道路交通情報を受信します。



アドバイス

交通情報画面はAV MENU画面からも表示させることができます。



1. **AUDIO** ボタン

1. **AUDIO** を押す。

：AV MENU画面が表示されます。

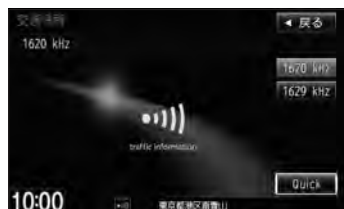
2. **交通情報** をタッチする。

：交通情報画面が表示されます。

FMモードTOP画面(例)



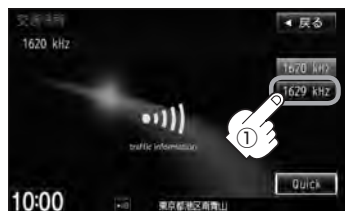
交通情報画面(例)



※初期状態は1620kHzに設定されています。

■ 周波数の設定を変える場合

① **1629kHz** をタッチする。



：1629kHzの交通情報を受信します。

※ 1620kHzに戻りたい場合は

1620kHz をタッチしてください。

道路交通情報の受信を止める

■ **戻る** をタッチした場合

：最後に選択していたモードが表示され、交通情報の受信を終了します。

■ **電源** を押した場合

：画面に“OFF”と表示されAV電源が切れます。



アドバイス

次回 **交通情報** をタッチすると前回選択した周波数の交通情報を受信します。

